

2020年3月2日

株 主 各 位

北九州市小倉北区大手町11番2号  
株式会社 ワールドホールディングス  
代表取締役会長兼社長 伊 井 田 栄 吉

### 第27回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第27回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、2020年3月18日（水曜日）午後5時45分までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

〔書面による議決権行使の場合〕

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

〔インターネットによる議決権行使の場合〕

2頁から3頁に記載の「インターネットによる議決権行使のお手続きについて」をご確認のうえ、当社の指定する議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスしていただき、画面の案内に従って、上記の行使期限までに賛否をご入力ください。

敬 具

#### 記

- |        |   |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 2020年3月19日（木曜日）午前10時  |
| 2. 場 所 | 北九州市小倉北区浅野二丁目14番2号<br>リーガロイヤルホテル小倉 3階エンパイアルーム<br>（末尾の会場ご案内図をご参照ください。） |

#### 3. 目的事項 報告事項

1. 第27期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第27期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）計算書類報告の件

#### 決 議 事 項

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 取締役13名選任の件                  |
| 第2号議案 | 監査役2名選任の件                   |
| 第3号議案 | 補欠監査役1名選任の件                 |
| 第4号議案 | ストック・オプションとして新株予約権を発行する件(1) |
| 第5号議案 | ストック・オプションとして新株予約権を発行する件(2) |

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <https://world-hd.co.jp/>）に掲載させていただきます。

## <インターネットによる議決権行使のお手続きについて>

インターネットにより議決権を行使される場合は、下記事項をご確認のうえ、行使していただきますようお願い申し上げます。

当日ご出席の場合は、書面（議決権行使書）またはインターネットによる議決権行使のお手続きはいずれも不要です。

### 記

#### 1. 議決権行使サイトについて

- (1) インターネットによる議決権行使は、パソコン、スマートフォンまたは携帯電話から、当社の指定する議決権行使サイト（<https://evote.tr.mufg.jp/>）にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です。（ただし、毎日午前2時から午前5時までは取り扱いを休止します。）
- (2) パソコンまたはスマートフォンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合、TLS暗号化通信を指定されていない場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。
- (3) 携帯電話による議決権行使は、セキュリティ確保のため、TLS暗号化通信及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。
- (4) インターネットによる議決権行使は、2020年3月18日（水曜日）の午後5時45分まで受け付けいたしますが、お早めに行使していただき、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

#### 2. インターネットによる議決権行使方法について

- (1) パソコン、携帯電話による方法
  - ・ 議決権行使サイト（<https://evote.tr.mufg.jp/>）において、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。
  - ・ 株主様以外の第三者による不正アクセス（“なりすまし”）や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承ください。
  - ・ 株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」及び「仮パスワード」をご通知いたします。
- (2) スマートフォンによる方法
  - ・ 議決権行使書用紙に記載の「ログイン用QRコード」をスマートフォンにより読み取ることで、議決権行使サイトに自動的に接続し、議決権行使を行うことが可能です。（「ログインID」及び「仮パスワード」の入力は不要です。）

- ・セキュリティの観点からQRコードでのログインは1回のみとなります。2回目以降は、QRコードを読み取っても「ログインID」「仮パスワード」の入力が必要になります。
- ・スマートフォン機種によりQRコードでのログインができない場合があります。QRコードでのログインができない場合には、上記2. (1) パソコン、携帯電話による方法にて議決権行使を行ってください。  
※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

3. 複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い

- (1) 書面とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきますのでご了承ください。
- (2) インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。また、パソコン、スマートフォンと携帯電話で重複して議決権を行使された場合も、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

4. 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用について

議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用（インターネット接続料金等）は、株主様のご負担となります。また、携帯電話等をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話等利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

以 上

システム等に関するお問い合わせ  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（ヘルプデスク）  
・電話 0120-173-027（受付時間 9:00～21:00、通話料無料）

(提供書面)

## 事業報告

( 2019年1月1日から  
2019年12月31日まで )

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や海外経済の減速を背景とした輸出減少や設備投資意欲の減退から製造業を中心に景況感の悪化が続きました。また、労働需給に関しても一部で人手不足感が若干縮小したものの、引き続き需給のひっ迫は継続しており、人手不足に伴う供給制約や人件費の上昇等が国内景気を下押ししております。

このような状況下、当社の基幹ビジネスである人材・教育ビジネスにおきましては、製造分野において海外情勢の影響で一部顧客での減産等の影響があったものの、これまで培ってきた人材育成等により主に技術開発分野を伸長させ堅調に推移いたしました。また、高領域人材の育成に注力するとともに、ツーリズム業界に特化した人材ビジネスに着手するなど、新たなマーケット開拓を推し進め人材業界でのプレゼンス向上（「当社らしさ」の向上）を図りました。

不動産ビジネスにおきましては、不動産物件価格のバブル的状況が続く中、物件の仕入れを慎重に進めたことに加え、計画していた大型の事業用地の一部売上(影響額：売上高10,004百万円、営業利益1,519百万円)が税務とは異なり会計上、翌期にズレ込んだため大幅な減収減益となりました。一方、今後想定されるバブル的状況の反転を見越し、不動産金融に参入するなど事業の裾野を広げることで先を見据えた拡大基盤の構築を推し進めました。

情報通信ビジネスにおきましては、携帯電話販売市場が転換期にある中、体制整備を推し進め利益体質への改善を図りました。

その他におきましては、2017年度に再生事業として参入した農業公園の整備が順調に推移し黒字となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は136,319百万円（前期比4.6%減）、営業利益は4,730百万円（前期比35.8%減）、経常利益は4,805百万円（前期比34.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,956百万円（前期比36.4%減）となりました。

セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

(ファクトリー事業)

ファクトリー事業は、スマートフォン・半導体設備関連等の顧客の一部で減産等があり減益要因となりましたが、強みである物流分野を伸長させるとともに、5G等をはじめとした技術革新が求められる領域に狙いを定め取引を拡大させることで業績拡大への準備を推し進めました。

最重要項目に位置付ける人材育成面においては、スキル研修やリーダー・マネジメント層の研修を1,000人規模で実施し、チーム派遣・請負現場の安定稼働・拡大、そして社員の定着率の向上に繋げるとともに、新拠点開拓の準備も進めました。また、次年度から本格施行する予定の新人事制度の整備を推し進めるなどの“仕組みづくり”に注力し、応募者からより選ばれる企業への進化（「集まる力」の強化）を図りました。

採用面においては、人手不足による採用難で苦戦する中、物流分野においては独自ノウハウで推し進める“コンソーシアムモデル”によって年末繁忙等の大型案件も確実に対応いたしました。また、当社独自WEBサイト「JOB PAPER」の登録者数も75,000人を超え順調に採用母集団の拡大を進めました。

以上の結果、売上高は50,001百万円（前期比1.0%増）、セグメント利益は2,679百万円（前期比15.5%減）となりました。

(テクノ事業)

テクノ事業は、これまで培ってきた人材育成等によるエンジニアのキャリアアップ支援への取り組みを更に強化し、自動車分野・情報通信分野・建設技術分野での取引拡大及び稼働単価上昇に繋がったことで増収増益となりました。

人材育成・採用という観点においても、育成体制を整備していることから広い採用母集団を確保することができ、人手不足という状況の中でも確実な採用に繋げ在籍人数も順調に増加しました。特に未経験者層からの、生産技術研修・3D-CAD研修等による自動車分野及び建設技術分野へのエンジニア輩出、そして各種プログラミング研修・インフラ研修等による情報通信分野への配属が好調に推移いたしました。また、これらの人材育成スキーム「人が活きるカタチアカデミア」をより進化させ、高度な育成体制の構築を進め、キャリア（経験者）層の採用強化を図りました。

以上の結果、売上高は16,902百万円（前期比11.2%増）、セグメント利益は1,761百万円（前期比31.7%増）となりました。

#### (R&D事業)

R&D事業は、研究者派遣部門においては、医薬・バイオ分野を拡大させるとともに化学分野に注力し既存クライアントとの取引を拡大させることで堅調に推移いたしました。また、臨床試験受託事業(CRO)部門においては、構造改革を進め稼働率を上げる施策を推進するとともに、これまで培ってきた関係を更に活かし医師主導治験の受託案件獲得を進めました。

人材育成面においては、東京大学・京都大学・大阪大学をはじめとした各提携大学の共同研究ラボでの最先端の研究開発業務による技術力向上や、ホスピタリティマインドを中心とした外部研修等を充実させることでより高領域の人材育成を進めました。採用面においても優秀な研究社員の採用を進め、技術支援企業として業界でのポジションをより向上させました。

以上の結果、売上高は7,108百万円(前期比4.9%増)、セグメント利益は711百万円(前期比27.2%増)となりました。

#### (セールス&マーケティング事業)

セールス&マーケティング事業は、昨年より推し進めてきた構造改革(オーダーの選別・適正価格の推進・管理体制の強化等)を完成させるとともに、量販・小売・コールセンター等の既存領域の取引を拡大させることで黒字となりました。また、新設した(株)JWソリューションにおいて、新たなマーケット創出を図り、ホテル業界のみならずツーリズム業界全体への参入準備を推し進めました。

以上の結果、売上高は3,761百万円(前期比6.4%増)、セグメント利益は27百万円(前期はセグメント損失100百万円)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、物件価格の高止まりが続く状況をリスクと捉え仕入れを慎重に進めていることに加え、デベロップメント関連において計画していた大型事業用地3物件の収益計上が期ズレしたために大幅な減収減益となりました。

また、不動産市場におけるこのバブル的な外部環境の反転が今後想定される中、アセットマネジメント、サービサーの立ち上げをはじめとしたいわゆる不動産金融への進出を行い、事業の裾野を広げ次年度以降の事業拡大に向けた準備を推し進めました。

なお、不動産事業における売上高の内訳は次のとおりであります。

デベロップメント関連におきましては、分譲マンション110戸と事業用地11物件の引渡しにより、売上高は11,263百万円を計上いたしました。販売受託等におきましては、売上高3,231百万円を計上いたしました。

リノベーション関連におきましては、712戸を引渡し、売上高14,513百万円を計上いたしました。

戸建住宅関連におきましては、注文住宅等において380戸引渡し、売上高10,962百万円を計上いたしました。

ユニットハウス関連におきましては、レンタル・販売等で、売上高2,113百万円を計上いたしました。

以上の結果、売上高は42,082百万円（前期比19.1%減）、セグメント利益は1,460百万円（前期比68.2%減）となりました。

#### （情報通信事業）

情報通信事業は、モバイルショップ運営において、法改正による通信・端末の完全分離や利用者の端末の買い替えサイクルの長期化等により店舗のあり方が変化するなど業界の転換期にある中、引き続き優良店舗網の構築に向け、店舗の移転・改装、そして接遇力・知識力向上にむけた人材育成への投資を行いながら、体制整備を推し進め利益体質への改善を図り増益となりました。また、法人向けソリューションにおいてはその営業力をグループ各社で活かせるよう人材の流動化を進めシナジー効果をより高めました。

以上の結果、売上高は12,344百万円（前期比0.3%減）、セグメント利益は10百万円（前期比193.0%増）となりました。

#### （その他）

農業公園施設の運営管理を行う㈱ファーム及びその関連会社においては、2017年に再生事業として参入して以来、人員体制の再整備・意識改革による運営基礎力の強化等の土台整備から緻密なマーケティングによる集客施策や設備投資を着実に行ってまいりました。それらの施策が奏功し、入園者数・客単価ともに増加したことで黒字となりました。また、入園者数も巨大アスレチック施設「アルプスジム」をオープンさせた「滋賀農業公園ブルーメの丘」を中心に増加し、全体で100万人を超えるなど順調に推移いたしました。PCスクール運営を行う㈱アドバンは、WEB制作等の事業を順調に推移させるとともに、人材・教育ビジネスとのシナジーを強化し、特にテクノ事業のエンジニア育成に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は4,118百万円（前期比18.8%増）、セグメント利益は132百万円（前期はセグメント損失270百万円）となりました。

(単位：百万円、%)

| 区 分            | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 増 減 額  | 増 減 率 |
|----------------|---------|---------|--------|-------|
| ファクトリー事業       | 49,524  | 50,001  | 477    | 1.0   |
| テクノ事業          | 15,200  | 16,902  | 1,702  | 11.2  |
| R & D 事業       | 6,779   | 7,108   | 328    | 4.9   |
| セールス&マーケティング事業 | 3,533   | 3,761   | 227    | 6.4   |
| 不動産事業          | 52,011  | 42,082  | △9,929 | △19.1 |
| 情報通信事業         | 12,376  | 12,344  | △32    | △0.3  |
| その他            | 3,467   | 4,118   | 650    | 18.8  |
| 計              | 142,894 | 136,319 | △6,575 | △4.6  |

(注) 1. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 設備投資の状況

当連結会計年度において、特記すべき設備投資はありません。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度中に、不動産事業の所要資金として、金融機関より長期借入金7,327百万円及び短期借入金26,939百万円の調達を実施いたしました。

④ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

前連結会計年度において、連結子会社でありました㈱モバイルサービスは、2019年4月1日付で当社の連結子会社である㈱イーサポートを存続会社とした吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。



## (2) 直前3事業年度の企業集団の財産及び損益の状況

| 項 目                       | 第24期<br>(2016年12月期) | 第25期<br>(2017年12月期) | 第26期<br>(2018年12月期) | 第27期<br>(当連結会計年度)<br>(2019年12月期) |
|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------------------|
| 売 上 高 (百万円)               | 94,334              | 127,147             | 142,894             | 136,319                          |
| 経 常 利 益 (百万円)             | 7,306               | 7,007               | 7,357               | 4,805                            |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 (百万円) | 4,192               | 4,612               | 4,650               | 2,956                            |
| 1株当たり<br>当期純利益 (円)        | 250.92              | 275.35              | 276.38              | 175.59                           |
| 総 資 産 (百万円)               | 73,392              | 80,039              | 79,964              | 87,352                           |
| 純 資 産 (百万円)               | 15,464              | 19,140              | 22,347              | 23,944                           |
| 1株当たり<br>純資産額 (円)         | 850.00              | 1,059.91            | 1,249.02            | 1,345.71                         |

(注) 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 重要な子会社の状況

| 会 社 名          | 資本金<br>百万円 | 議決権比率<br>%       | 主 な 事 業 内 容                                                                               |
|----------------|------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ㈱ワールドインテック     | 450        | 100.0            | ファクトリー事業<br>(製造派遣・物流請負・業務請負)<br>テクノ事業<br>(技術者派遣・ソフトウェア受託開発・修繕受託)<br>R&D事業<br>(研究者派遣・臨床派遣) |
| ㈱ワールドネクスト      | 30         | 100.0<br>(100.0) | ファクトリー事業<br>(行政受託・業務請負・人材派遣)                                                              |
| 台湾英特科(股)       | 34         | 100.0            | ファクトリー事業<br>(人材紹介・人材派遣)                                                                   |
| 蘇州英特科製造外包有限公司  | 90         | 51.0<br>(51.0)   | ファクトリー事業<br>(業務請負)                                                                        |
| ㈱ワールドコンストラクション | 90         | 100.0            | テクノ事業<br>(建設技術者派遣)                                                                        |
| 九州地理情報㈱        | 100        | 51.0             | テクノ事業<br>(システム受託開発等)                                                                      |
| 日研テクノ㈱         | 55         | 100.0<br>(100.0) | テクノ事業<br>(デジタル機器修理)                                                                       |

| 会 社 名           | 資 本 金 | 議決権比率            | 主 な 事 業 内 容                       |
|-----------------|-------|------------------|-----------------------------------|
| 西肥情報サービス㈱       | 30    | 100.0<br>(100.0) | テクノ事業<br>(ソフトウェア受託開発)             |
| DOTワールド㈱        | 15    | 100.0            | R & D事業<br>(CRO (臨床試験受託) )        |
| ㈱ワールドスタッフィング    | 250   | 100.0            | セールス&マーケティング事業<br>(販売員派遣・オフィス系派遣) |
| ㈱ワールドレジデンシャル    | 300   | 100.0            | 不動産事業<br>(住宅分譲・宅地分譲・マンション管理)      |
| ㈱ワールドアイシティ      | 300   | 100.0            | 不動産事業<br>(住宅分譲・宅地分譲・販売受託・マンション管理) |
| ㈱ワールドウィステリアホームズ | 300   | 100.0            | 不動産事業<br>(住宅分譲)                   |
| ㈱ワールドミクニ        | 300   | 100.0            | 不動産事業<br>(住宅分譲)                   |
| ニチモリアルエステート㈱    | 160   | 100.0            | 不動産事業<br>(不動産コンサルティング)            |
| 豊栄建設㈱           | 100   | 100.0            | 不動産事業<br>(戸建住宅の設計施工販売)            |
| ㈱ミクニ            | 95    | 100.0            | 不動産事業<br>(リノベーション・不動産仲介・賃貸管理)     |
| エムズワールド㈱        | 50    | 100.0<br>(100.0) | 不動産事業<br>(リノベーション・不動産仲介・賃貸管理)     |
| ㈱オオマチワールド       | 90    | 100.0            | 不動産事業<br>(ユニットハウスの製造・販売・レンタル)     |
| ㈱イーサポート         | 312   | 51.0             | 情報通信事業<br>(コールセンター運営)             |
| ㈱ネットワークソリューション  | 90    | 100.0<br>(97.0)  | 情報通信事業<br>(通信機器販売)                |
| ㈱ベストITビジネス      | 50    | 56.0<br>(52.0)   | 情報通信事業<br>(OA機器・通信機器販売)           |

| 会 社 名   | 資 本 金 | 議決権比率            | 主 な 事 業 内 容               |
|---------|-------|------------------|---------------------------|
| ㈱ファーム   | 300   | 100.0<br>(100.0) | その他<br>(農業公園の運営管理)        |
| ㈱クラウドイト | 20    | 100.0<br>(100.0) | その他<br>(農業公園の運営管理)        |
| ㈱アドバン   | 30    | 100.0            | その他<br>(パソコンスクール運営・WEB制作) |

- (注) 1. 「議決権比率」欄の( )書きは間接所有であり、内数であります。
2. 前連結会計年度において、非連結子会社でありました豊栄ホーム㈱は、重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。
3. 前連結会計年度において、非連結子会社でありました㈱北山レーベンは、重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。
4. 前連結会計年度において、連結子会社でありました㈱モバイルサービスは、2019年4月1日付で当社の連結子会社である㈱イーサポートを存続会社とした吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。
5. ㈱ワールドネクストは、2019年8月1日付で㈱ワールドインテック福島より商号変更しております。

#### (4) 対処すべき課題

##### 「人材・教育ビジネス」

###### 人材確保

わが国では、少子高齢化に起因する労働力人口の減少などにより全国的な人手不足が続いております。当社グループにおいても労働力が不足している若年層を中心に顧客ニーズが高いことなどから、今後、中長期的に人材採用の厳しさが増す可能性があります。

このような環境の中、当社の強みである「ワンストップサービス」による多様な働く環境の提供によって採用母集団の最大化を図るとともに、従前から推し進めている「人材プラットフォーム」構想の進化や、様々な志向に合わせたキャリア形成支援・人材育成を進め自らが望む仕事をしながらスキルアップ、キャリアアップできる体制整備を深化させ、「集まる力」（会社の魅力・ブランド力）を向上させることによって、優秀な人材の確保に繋げて参ります。そして、当社が取り組んできた、請負やコンソーシアムによる今までの取組実績から、クライアントとともに女性、高齢者などの様々な人材が働く場所を提供し採用母集団の最大化を図って参ります。

###### 海外情勢の影響

当社の人材・教育ビジネスにおいては、「ものづくり」に関する製造分野に特に強みを持っておりますが、米中貿易摩擦をはじめとした海外情勢によって日本の「ものづくり」の生産量に減産等の影響があった場合は、収益の減少に繋がる可能性があります。

このような環境の中、当社の強みである「ワンストップサービス」による幅広い業種への取引実績によってリスクを分散することに加え、社員がスキルアップ・キャリアアップできる仕組みを構築することで社員の流動化を実現し対応して参ります。

###### 関連法案の制定・改正

人材業界を取り巻く法制定・改正等により、その対応にかかるコストや方向性の転換等により収益に影響が出る可能性があります。

近年も派遣法改正、働き方改革関連法、出入国管理法改正等、関連する法案の改正等が行われておりますが、当社は業界に先んじてそれに対して真摯に対応し、課題解決を適切に図ることでコストを最小限に抑え、コンプライアンスに強い企業集団として業界でのプレゼンス向上に繋げております。

### 「不動産ビジネス」

#### 市況の変動への対応

不動産ビジネスにおいては、経済環境や地域的な状況による変動要素が大きく、時期によって仕入難や販売価格高騰等により販売数や収益の減少に繋がる可能性があります。

このような環境の中、従来からのデベロップメント関連をはじめとしたフロービジネスだけでなく、ストックビジネスを安定成長させることによって、事業バランスの最適化と利益パフォーマンスの最大化を図って参ります。また、全国展開のネットワークから得た様々な最新状況・マーケット動向を各地域に特化した戦略策定に落とし込み、仕入や販売時期などをコントロールし、最適な規模と安定的な経営を追求しながら、可能性のある新たな不動産領域・地域へ積極的に投資し拡大して参ります。

### 「情報通信ビジネス」

#### 関連法案改正及び変化する市場ニーズへの対応

携帯電話の販売市場が成熟期を迎える中、関連法案が改正されること及び市場ニーズの変化等により販売台数の減少をはじめ、携帯キャリアからの手数料の減額等が進み、収益の減少に繋がる可能性があります。

このような環境の中、当社グループでは顧客と携帯キャリアの囲い込みを重視し、良質でホスピタリティの高いサービスを提供できる人材の育成と優良店舗網の構築を進めて参ります。また、現在取り組んでいる法人向けサービスの拡充や、新規事業への取組を進め安定化を図ることで、変化する市場ニーズに対応できる体制を整え安定成長を目指して参ります。

(5) 企業集団の主要な事業内容 (2019年12月31日現在)

| 事業区分             | 事業の内容                                                                                |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ファクトリー事業         | 製造派遣・物流請負・業務請負・行政受託・人材派遣・人材紹介                                                        |
| テクノ事業            | 技術者派遣・ソフトウェア受託開発・修繕受託・システム受託開発等・デジタル機器修理・建設技術者派遣                                     |
| R & D 事業         | 研究者派遣・臨床派遣・CRO (臨床試験受託)                                                              |
| セールス & マーケティング事業 | 販売員派遣・オフィス系派遣                                                                        |
| 不動産事業            | 住宅分譲・宅地分譲・マンション管理・販売受託・不動産コンサルティング・戸建住宅の設計施工販売・リノベーション・不動産仲介・賃貸管理・ユニットハウスの製造、販売、レンタル |
| 情報通信事業           | コールセンター運営・通信機器販売・OA機器販売                                                              |
| その他              | 農業公園の運営管理・パソコンスクール運営・WEB制作                                                           |

(6) 企業集団の主要な営業所及び事業所 (2019年12月31日現在)

① 当社

|       |          |
|-------|----------|
| 福岡本社  | 福岡市博多区   |
| 北九州本社 | 北九州市小倉北区 |
| 東京本部  | 東京都港区    |

② 子会社

| 会社名             | 本店所在地    |
|-----------------|----------|
| ㈱ワールドインテック      | 北九州市小倉北区 |
| ㈱ワールドネクスト       | 福島県郡山市   |
| 台湾英特科(股)        | 台北市中山區   |
| 蘇州英特科製造外包有限公司   | 中国蘇州高新区  |
| ㈱ワールドコンストラクション  | 東京都港区    |
| 九州地理情報㈱         | 福岡市東区    |
| 日研テクノ㈱          | 大阪市西区    |
| 西肥情報サービス㈱       | 長崎県佐世保市  |
| DOTワールド㈱        | 東京都港区    |
| ㈱ワールドスタッフイング    | 福岡市博多区   |
| ㈱ワールドレジデンシャル    | 東京都港区    |
| ㈱ワールドアイシティ      | 仙台市青葉区   |
| ㈱ワールドウィステリアホームズ | 大阪市北区    |
| ㈱ワールドミクニ        | 福岡市博多区   |
| ニチモリアルエステート㈱    | 東京都港区    |
| 豊栄建設㈱           | 札幌市中央区   |
| ㈱ミクニ            | 北九州市小倉北区 |

| 会社名              | 本店所在地   |
|------------------|---------|
| エムズワールド(株)       | 札幌市中央区  |
| (株)オオマチワールド      | 仙台市宮城野区 |
| (株)イーサポート        | 福岡県飯塚市  |
| (株)ネットワークソリューション | 福岡県飯塚市  |
| (株)ベストITビジネス     | 福岡市博多区  |
| (株)ファーム          | 愛媛県西条市  |
| (株)クラウドイト        | 兵庫県神崎郡  |
| (株)アドバン          | 福岡市博多区  |



(7) 企業集団及び当社の従業員の状況 (2019年12月31日現在)

① 企業集団の状況

| セグメントの名称           | 従業員数 (人) |        |        | 前連結会計年度<br>末比増減 (人) |
|--------------------|----------|--------|--------|---------------------|
|                    | 管理社員     | 現業社員   | 合計     |                     |
| ファクトリー事業           | 460      | 11,378 | 11,838 | △33                 |
| テクノ事業              | 218      | 2,638  | 2,856  | 192                 |
| R & D 事業           | 83       | 1,040  | 1,123  | 20                  |
| セールス&マーケティング<br>事業 | 103      | 1,743  | 1,846  | 394                 |
| 不動産事業              | 518      | 38     | 556    | 27                  |
| 情報通信事業             | 394      | —      | 394    | △55                 |
| その他                | 51       | 730    | 781    | 82                  |
| 全社 (共通)            | 104      | —      | 104    | 19                  |
| 合計                 | 1,931    | 17,567 | 19,498 | 646                 |

- (注) 1. 従業員数は就業人員 (当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む。) を記載しております。  
 2. 全社 (共通) として記載されている従業員数は、特定の事業に区分できない管理部門に所属しているものであります。  
 3. 当連結会計年度において、従業員が646人増加しましたのは、主としてセールス&マーケティング事業において事業規模拡大のために採用活動及び人員体制を強化したことによるものであります。

② 当社の状況

| 従業員数 (人) | 前期末比増減 (人) | 平均年齢 (歳) | 平均勤続年数 (年) |
|----------|------------|----------|------------|
| 37       | 1          | 45.5     | 11.1       |

- (注) 従業員数は就業人員 (当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。) を記載しております。

(8) 企業集団の主要な借入先の状況 (2019年12月31日現在)

| 借入先          | 借入額       |
|--------------|-----------|
| 株式会社福岡銀行     | 13,200百万円 |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 8,049     |
| 株式会社北九州銀行    | 5,866     |
| 株式会社三井住友銀行   | 2,019     |
| 株式会社七十七銀行    | 1,599     |

## 2. 会社の状況に関する事項

### (1) 株式に関する事項 (2019年12月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 54,000,000株
- ② 発行済株式の総数 16,961,600株
- ③ 株主数 3,048名
- ④ 大株主 (上位10名)

| 株 主 名                                                                                                                   | 持 株 数      | 持 株 比 率 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------|
| みらい総研株式会社                                                                                                               | 5,800,000株 | 34.44%  |
| 伊井田 栄吉                                                                                                                  | 2,061,500株 | 12.24%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>(信託口)                                                                                           | 1,871,400株 | 11.11%  |
| BNP PARIBAS SECURITI<br>ES SERVICES LUXEMBOU<br>RG/JASDEC/FIM/LUXEMB<br>OURG FUNDS/UCITS ASS<br>ETS<br>常任代理人 香港上海銀行東京支店 | 785,000株   | 4.66%   |
| 株式会社北九州銀行<br>常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行<br>株式会社                                                                               | 709,200株   | 4.21%   |
| 安部 南鎬                                                                                                                   | 500,000株   | 2.96%   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託<br>口)                                                                                             | 323,400株   | 1.92%   |
| 株式会社西日本シティ銀行                                                                                                            | 300,000株   | 1.78%   |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                                                                                             | 180,000株   | 1.06%   |
| J P MORGAN CHASE BANK<br>3 8 5 1 5 1<br>常任代理人 株式会社みずほ銀行                                                                 | 147,114株   | 0.87%   |

(注) 持株比率は自己株式 (121,000株) を控除して計算しております。

## (2) 新株予約権等に関する事項

当事業年度の末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況

|                        |                   | 第 1 回新株予約権                                | 第 2 回新株予約権                                    |
|------------------------|-------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 発行決議日                  |                   | 2015年3月10日                                | 2015年3月10日                                    |
| 新株予約権の数                |                   | 240個                                      | 3,000個                                        |
| 新株予約権の目的となる株式の種類と数     |                   | 普通株式 24,000株<br>(新株予約権1個につき100株)          | 普通株式 300,000株<br>(新株予約権1個につき100株)             |
| 新株予約権の払込金額             |                   | 新株予約権と引換えに払い込みは要しない                       | 新株予約権と引換えに払い込みは要しない                           |
| 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額 |                   | 新株予約権1個当たり<br>97,700円<br>(1株当たり 977円)     | 新株予約権1個当たり<br>97,700円<br>(1株当たり 977円)         |
| 権利行使期間                 |                   | 2017年3月21日から<br>2024年3月20日まで              | 2015年3月18日から<br>2025年3月17日まで                  |
| 行使の条件                  |                   | (注) 1                                     | (注) 2                                         |
| 役員の<br>保有状況            | 取締役<br>(社外取締役を除く) | 新株予約権の数 90個<br>目的となる株式数 9,000株<br>保有者数 3名 | 新株予約権の数 3,000個<br>目的となる株式数300,000株<br>保有者数 1名 |

- (注) 1. 新株予約権者は、権利行使時において、当社または当社子会社の取締役、当社または当社子会社の従業員のいずれかの地位にあることを要する。ただし、当社または当社子会社の取締役を任期満了により退任した場合、または定年により当社または当社子会社の従業員を退職した場合はこの限りではない。その他の権利行使の条件は、定時株主総会及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるところによる。
2. 新株予約権者は、権利行使時において、当社または当社子会社の取締役もしくは社外協力者のいずれかの地位にあることを要する。ただし、当社または当社子会社の取締役を任期満了により退任した場合はこの限りではない。その他の権利行使の条件は、定時株主総会及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるところによる。

### (3) 会社役員 の 状況

#### ① 取締役及び監査役の状況 (2019年12月31日現在)

| 地 位                    | 氏 名       | 担 当     | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------|-----------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役<br>会 長 兼 社 長 | 伊 井 田 栄 吉 |         | 九州地理情報㈱代表取締役<br>㈱ワールドレジデンシャル代表取<br>締役<br>ニチモリアルエステート㈱代表取<br>締役<br>㈱ワールドウィステリアホームズ<br>代表取締役<br>㈱ワールドアイシティ代表取締役<br>㈱ワールドインテック代表取締役<br>㈱ベストITビジネス代表取締役<br>㈱オオマチワールド代表取締役<br>㈱ワールドミックニ代表取締役<br>豊栄建設㈱代表取締役<br>㈱ファーム代表取締役<br>DOTワールド㈱代表取締役<br>㈱ミックニ取締役<br>㈱アドバン取締役<br>台湾英特科(股)董事<br>日研テクノ㈱取締役<br>西肥情報サービス㈱取締役 |
| 取 締 役                  | 岩 崎 亨     | 人材事業担当  | ㈱ワールドインテック代表取締役<br>日研テクノ㈱代表取締役<br>西肥情報サービス㈱代表取締役<br>DOTワールド㈱取締役                                                                                                                                                                                                                                         |
| 取 締 役                  | 高 井 裕 二   | 不動産事業担当 | ㈱ファーム代表取締役<br>㈱クラウドイト代表取締役<br>㈱ワールドレジデンシャル取締役<br>㈱ワールドコンストラクション取<br>締役                                                                                                                                                                                                                                  |

| 地 位   | 氏 名     | 担 当     | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                |
|-------|---------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取 締 役 | 本 多 信 二 | 人材事業担当  | ㈱ワールドネクスト代表取締役<br>㈱ワールドスタッフイング代表取締役<br>㈱ワールドインテック取締役                                                                                                                                           |
| 取 締 役 | 中 野 繁   | 経営管理本部長 | ㈱ワールドインテック取締役<br>㈱アドバン監査役<br>㈱ワールドレジデンシャル監査役<br>ニチモリアルエステート㈱監査役<br>㈱ワールドネクスト監査役<br>DOTワールド㈱監査役<br>㈱ベストITビジネス監査役<br>㈱イーサポート監査役<br>㈱ネットワークソリューション監査役<br>日研テクノ㈱監査役<br>西肥情報サービス㈱監査役<br>台湾英特科(股)監察人 |
| 取 締 役 | 三 舛 善 彦 | 経営政策本部長 | 九州地理情報㈱代表取締役<br>㈱アドバン代表取締役<br>㈱ベストITビジネス取締役<br>㈱ネットワークソリューション取締役<br>㈱ワールドインテック取締役<br>西肥情報サービス㈱取締役<br>㈱イーサポート取締役                                                                                |
| 取 締 役 | 菅 野 利 彦 | 経営企画本部長 | ㈱アドバン代表取締役<br>㈱イーサポート代表取締役<br>㈱ベストITビジネス取締役<br>㈱ワールドインテック取締役                                                                                                                                   |
| 取 締 役 | 伊 藤 修 三 | 人材事業担当  | DOTワールド㈱取締役<br>㈱ワールドインテック取締役                                                                                                                                                                   |
| 取 締 役 | 副 島 晶   | 不動産事業担当 | ㈱ワールドミクニ取締役<br>㈱ミクニ取締役<br>㈱ワールドレジデンシャル取締役                                                                                                                                                      |

| 地 位              | 氏 名                      | 担 当 | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                            |
|------------------|--------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取 締 役            | 橋 田 紘 一                  |     | ㈱SUMIDA代表取締役                                                                                               |
| 取 締 役            | 五十嵐 伸 吾<br>(戸籍上の氏名 田路伸吾) |     | 九州大学経済学府産業マネジメント専攻(ビジネススクール)准教授<br>九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター副センター長                                     |
| 取 締 役            | 山 崎 英 樹                  |     | ㈱ミューウ代表取締役<br>カルトニ㈱代表取締役<br>(一社)メディカルサイエンスベア<br>ストリソース研究所代表理事<br>(公社)子どもの発達科学研究所理<br>事<br>(地独)大阪府立病院機構本部顧問 |
| 監 査 役<br>( 常 勤 ) | 山 村 和 幸                  |     | ㈱ワールドインテック監査役(常勤)                                                                                          |
| 監 査 役            | 加 藤 哲 夫                  |     | 加藤法律会計事務所所長<br>㈱ワールドインテック監査役<br>弁護士、公認会計士                                                                  |
| 監 査 役            | 古 賀 光 雄                  |     | 古賀マネジメント総研㈱代表取<br>締役<br>㈱ワールドインテック監査役<br>㈱テノ・ホールディングス監査役<br>公認会計士                                          |

- (注) 1. 取締役橋田紘一氏、取締役五十嵐伸吾氏及び取締役山崎英樹氏は、社外取締役であります。
2. 監査役加藤哲夫氏及び監査役古賀光雄氏は、社外監査役であります。
3. 監査役加藤哲夫氏及び監査役古賀光雄氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 当社は、取締役橋田紘一氏及び取締役五十嵐伸吾氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し同取引所に届け出ております。

## ② 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外取締役及び各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

### ③ 取締役及び監査役の報酬等の総額

| 区 分               | 支給人員       | 支給額            |
|-------------------|------------|----------------|
| 取締役<br>(うち社外取締役分) | 13名<br>(4) | 120 百万円<br>(6) |
| 監査役<br>(うち社外監査役分) | 3<br>(2)   | 19<br>(13)     |
| 合 計<br>(うち社外役員分)  | 16<br>(6)  | 139<br>(20)    |

- (注) 1. 株主総会決議(2007年3月22日)による取締役報酬限度額(使用人兼務取締役の使用人分の報酬を除く。)は年額200百万円であります。また別枠で、株主総会決議(2014年3月20日)によるストック・オプション報酬額は年額500百万円以内であります。
2. 株主総会決議(1998年1月23日)による監査役報酬限度額は年額30百万円であります。
3. 上記には、使用人兼務取締役の使用人分給与相当額8百万円は含まれておりません。
4. 上記の報酬等の額には、以下のものが含まれております。  
当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額3百万円(取締役13名分2百万円(うち社外取締役4名に対し0百万円)、監査役3名分0百万円(うち社外監査役2名分0百万円))が含まれております。
5. 取締役2名については、上記報酬等の総額に含まれていない当社子会社からの役員報酬として26百万円、退職慰労金として0百万円を支給しております。

### ④ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等との重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係  
取締役橋田紘一氏は、㈱SUMIDAの代表取締役であります。当社と、兼職先との間には特別の関係はありません。

取締役五十嵐伸吾氏は、九州大学経済学府産業マネジメント専攻(ビジネススクール)准教授及び九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター副センター長であります。当社と、各兼職先との間には特別の関係はありません。

取締役山崎英樹氏は、㈱ミューウ代表取締役、カルトーニ㈱代表取締役、(一社)メディカルサイエンスベーストリソース研究所代表理事、(公社)子ども発達科学研究所理事及び(地独)大阪府立病院機構本部顧問であります。当社と、各兼職先との間には特別の関係はありません。

監査役加藤哲夫氏は、加藤法律会計事務所の所長であります。当社と、兼職先との間には特別の関係はありません。

監査役古賀光雄氏は、古賀マネージメント総研㈱の代表取締役であります。当社と、兼職先との間には特別の関係はありません。

監査役加藤哲夫氏及び監査役古賀光雄氏は、㈱ワールドインテックの監査役であります。同社は、当社の子会社になります。



ロ. 当事業年度における主な活動状況

|             | 活 動 状 況                                                                                                                                                                |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 橋 田 紘 一 | 当事業年度に開催された取締役会15回のうち13回に出席いたしました。他社での豊富な企業経営経験及び実績を活かして、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。                                                              |
| 取締役 五十嵐 伸 吾 | 取締役に就任後、当事業年度に開催された取締役会11回のうち11回に出席いたしました。他社での豊富な経験及び幅広い見識に基づき、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。                                                        |
| 取締役 山 崎 英 樹 | 取締役に就任後、当事業年度に開催された取締役会11回のうち11回に出席いたしました。他社での豊富な企業経営経験及び実績を活かして、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。                                                      |
| 監査役 加 藤 哲 夫 | 当事業年度に開催された取締役会15回のうち11回に出席し、監査役会14回のうち11回に出席いたしました。弁護士及び公認会計士としての専門的見地から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の法務全般並びに内部監査について適宜、必要な発言を行っております。 |
| 監査役 古 賀 光 雄 | 当事業年度に開催された取締役会15回のうち14回に出席し、監査役会14回のうち14回に出席いたしました。主に公認会計士としての専門的見地から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。また、監査役会において、当社の税務・財務全般並びに内部監査について適宜、必要な発言を行っております。 |

#### (4) 会計監査人の状況

- ① 名称 有限責任監査法人トーマツ
- ② 報酬等の額

|                                    | 支 払 額 |
|------------------------------------|-------|
| 1. 公認会計士法第2条第1項の業務に係る報酬等の額         | 39百万円 |
| 2. 当社及び当社の連結子会社が会計監査人に支払うべき報酬等の合計額 | 39百万円 |

(注) 当社と会計監査人との監査契約において、会社法上の会計監査人の監査に対する報酬等の額と金融商品取引法上の監査に対する報酬等の額等を明確に区分しておらず、かつ、実質的にも区分できませんので、上記1. の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

#### ③ 会計監査人の報酬等に監査役会が同意した理由

監査役会は、会計監査人の監査計画、従前の事業年度における職務執行状況及び報酬の算出根拠等を確認し、審議した結果、監査報酬額が適正であると判断し同意いたしております。

#### ④ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## (5) 業務の適正を確保するための体制

当社は、内部統制システムの適切な整備及び運用を行うことが重要な経営課題であると認識し、当社及び当社子会社の体制について下記の方針を策定しております。

### 1. 当社及び当社子会社の取締役並びに使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (1) ワールドホールディングス企業行動基準をはじめとして、当社及び各子会社で策定される社内規程は、取締役及び社員全員が法令、定款及び社会規範を遵守していくための具体的な行動指針とする。
- (2) ワールドホールディングスの業務管理本部がコンプライアンスの取組みを組織横断的に統括することとし、各子会社を中心となり、積極的に取締役及び社員への教育を行う。また、内部監査部門は、各子会社及び各部署と連携の上、コンプライアンスの状況を監査する。これらの活動は、定期的にワールドホールディングスの取締役会及び監査役会に報告する。
- (3) 法令、定款上の疑義ある行為について、社員が直接情報を提供できる手段として、ワールドホールディングスの業務管理本部内にコンプライアンス・ホットラインを設置する。

### 2. 当社及び当社子会社の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

ワールドホールディングスの関係会社管理規程及び文書管理規程に従い、取締役会及びその他の重要会議の議事録及び決裁記録など、取締役の職務の執行に係る情報を文書又は電磁的媒体（以下、「文書等」という。）に記録し保存する。取締役及び監査役は、いつでもこれらの文書等を閲覧できるものとする。

### 3. 当社及び当社子会社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) コンプライアンス、災害、品質及び情報セキュリティ等に係るリスクについては、リスクマネジメント委員会が当社及び当社子会社を統括し、経営管理本部及び業務管理本部並びにそれぞれの担当部署にて、規則・ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成、配布等を行い、整備又は運用状況の結果について当該委員会へ報告するものとする。
  - (2) 新たに発生したリスクについては、リスクマネジメント委員会において速やかに対応責任者となる取締役の任命又は担当部署を決定する。
- ### 4. 当社及び当社子会社の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制及び報告に関する体制
- (1) ワールドホールディングスの取締役会は、当社及び当社子会社の達成すべき目標を定め、各取締役は、その目標達成のために担当部門の具体的な目標及び業務権限、意思決定ルールを決定し、効率的な目標達成に努め、当社取締役会へ報告するものとする。
  - (2) ワールドホールディングスの取締役会は、ITを活用して定期的に業務の進捗状況をレビューし、各子会社に対して改善を促すこと等を可能とする全社的な業務の効率化を実現するシステムを構築していくものとする。

5. 当社及び当社子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制  
セグメント別の事業に関して、各子会社別に責任を負う取締役を任命し、法令遵守体制、リスク管理体制を構築する権限と責任を与える。ワールドホールディングスの業務管理本部は、これらを横断的に推進し管理する。
6. 当社監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び取締役からの独立性に関する事項
  - (1) 監査役は、内部監査部門所属の社員に監査業務に必要な事項を指示できるものとする。
  - (2) 監査役から監査業務に必要な指示を受けた社員は、その指示に関して取締役又は内部監査部門の責任者からの指揮命令を受けないものとする。また、当該社員の人事異動、評価等を行う場合は、監査役へ事前報告を行い、その意見を尊重する。
7. 当社の取締役及び使用人並びに当社子会社の取締役及び使用人が当社の監査役に報告するための体制その他当社監査役への報告に関する体制
  - (1) 当社及び当社子会社の取締役及び社員は、コンプライアンス・ホットラインを通じて直接当社の監査役へ報告を行う又は当社子会社の監査役等を通じて当社監査役へ報告を行う。
  - (2) 当該報告には、法定の事項に加え、当社グループに重大な影響を及ぼす事項、社内監査の実施状況、コンプライアンス・ホットラインによる通報状況及びその内容を含むものとする。なお、当該報告をした者への不利な取扱いを禁止し、その旨を当社及び当社子会社の取締役及び社員へ周知徹底を図る。
8. その他当社監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
  - (1) 監査役は、当社に対し職務の執行上必要となる費用等について、監査役会規程及びその他の関連規程に基づき、その費用の前払い及び償還を受けることができる。
  - (2) 監査役と代表取締役との間で定期的な意見交換会を実施していくものとする。
  - (3) 監査役と内部監査部門との間で定期的な意見交換会を実施していくものとする。

## (6) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当社は、上記方針に基づき、内部統制システムの適切な整備及び運用を行い、コンプライアンスの推進、リスクマネジメントの強化、内部監査体制の充実に取り組んでおります。これらをはじめ、業務の適正を確保するための体制に係る運用状況は以下の通りとなります。

### 1. コンプライアンス体制

当社は、コンプライアンスに対する意識の向上を図るため、適宜幹部社員を対象とした教育を実施し、コンプライアンス意識の浸透及び高揚に努めました。また、コンプライアンス・ホットラインにより、コンプライアンスに関する懸念事項に関する相談を幅広く受け付け、問題の早期発見と改善に努めました。

### 2. リスクマネジメント体制

当社は、当社グループにて構成されるリスクマネジメント委員会を開催し、各組織においてリスクの抽出及び対応策について報告が行われております。また、運用上において新たに発見された問題点等について、適時、是正改善を行い、必要に応じて再発防止の取組みを実施してまいりました。

### 3. 内部監査及び財務報告の信頼性を確保するための体制

当社は、財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準等に準拠した内部監査計画書を策定しております。内部監査室は、当該計画に基づき当社及び当社子会社の内部監査を実施し、その結果を経営者及び監査役へ報告しております。また、是正状況及び財務報告に係る内部統制の有効性結果を定期的に当社取締役会へ報告しております。

以上のことから、第27期における当社の内部統制システムは有効に運用されたものと判断しております。

## (7) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としており、配当については、連結配当性向30%を目安として、安定的かつ継続的な配当成長をめざしております。

上記の方針に基づき、2019年12月31日を基準日とする配当金を1株当たり52円70銭とさせていただきます。

# 連 結 貸 借 対 照 表

(2019年12月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目                    | 金 額           | 科 目                  | 金 額           |
|------------------------|---------------|----------------------|---------------|
| <b>資 産 の 部</b>         |               | <b>負 債 の 部</b>       |               |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>76,920</b> | <b>流 動 負 債</b>       | <b>52,790</b> |
| 現金及び預金                 | 16,513        | 買掛金                  | 1,402         |
| 受取手形及び売掛金              | 12,093        | 不動産事業未払金             | 1,004         |
| 商品及び製品                 | 813           | 短期借入金                | 27,701        |
| 販売用不動産                 | 16,373        | 未払費用                 | 5,786         |
| 仕掛品                    | 84            | 前受金                  | 9,395         |
| 仕掛販売用不動産               | 26,234        | 未払法人税等               | 1,226         |
| その他                    | 4,814         | 未払消費税等               | 1,495         |
| 貸倒引当金                  | △6            | 賞与引当金                | 142           |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>10,431</b> | その他                  | 4,634         |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>5,919</b>  | <b>固 定 負 債</b>       | <b>10,617</b> |
| 建物及び構築物                | 2,076         | 長期借入金                | 8,592         |
| 土地                     | 2,026         | 役員退職慰労引当金            | 182           |
| その他                    | 1,816         | 退職給付に係る負債            | 1,573         |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>690</b>    | その他                  | 268           |
| のれん                    | 436           | <b>負 債 合 計</b>       | <b>63,408</b> |
| その他                    | 254           | <b>純 資 産 の 部</b>     |               |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>3,820</b>  | <b>株 主 資 本</b>       | <b>22,633</b> |
| 投資有価証券                 | 856           | 資本金                  | 787           |
| 繰延税金資産                 | 1,467         | 資本剰余金                | 984           |
| 敷金及び保証金                | 943           | 利益剰余金                | 20,988        |
| その他                    | 777           | 自己株式                 | △127          |
| 貸倒引当金                  | △224          | その他の包括利益累計額          | 29            |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>87,352</b> | その他有価証券評価差額金         | 0             |
|                        |               | 為替換算調整勘定             | 0             |
|                        |               | 退職給付に係る調整累計額         | 28            |
|                        |               | <b>新 株 予 約 権</b>     | <b>122</b>    |
|                        |               | 非支配株主持分              | 1,159         |
|                        |               | <b>純 資 産 合 計</b>     | <b>23,944</b> |
|                        |               | <b>負 債 純 資 産 合 計</b> | <b>87,352</b> |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

（ 2019年1月1日から  
2019年12月31日まで ）

(単位：百万円)

| 科 目             | 金 額     |
|-----------------|---------|
| 売上高             | 136,319 |
| 売上原価            | 110,009 |
| 売上総利益           | 26,310  |
| 販売費及び一般管理費      | 21,580  |
| 営業利益            | 4,730   |
| 営業外収益           |         |
| 受取利息及び配当金       | 13      |
| 助成金収入           | 25      |
| 設備支援助金          | 36      |
| その他             | 272     |
| 営業外費用           |         |
| 支払利息            | 185     |
| 固定資産除却損         | 52      |
| その他             | 34      |
| 経常利益            | 4,805   |
| 特別利益            |         |
| 受取保険金           | 34      |
| 消費税等簡易課税差額収入    | 146     |
| 特別損失            |         |
| 貸倒引当金繰入額        | 155     |
| 減損損失            | 44      |
| 災害による損失         | 21      |
| 税金等調整前当期純利益     | 4,764   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 2,091   |
| 法人税等調整額         | △313    |
| 当期純利益           | 2,986   |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 30      |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,956   |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

（ 2019年1月1日から  
2019年12月31日まで ）

（単位：百万円）

|                              | 株主資本 |       |        |      |        |
|------------------------------|------|-------|--------|------|--------|
|                              | 資本金  | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当連結会計年度期首残高                  | 784  | 965   | 19,412 | △126 | 21,036 |
| 当連結会計年度変動額                   |      |       |        |      |        |
| 新株の発行                        | 3    | 3     |        |      | 6      |
| 剰余金の配当                       |      |       | △1,397 |      | △1,397 |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |      |       | 2,956  |      | 2,956  |
| 自己株式の取得                      |      |       |        | △0   | △0     |
| 連結子会社の新規連結に<br>伴う剰余金増加高      |      |       | 16     |      | 16     |
| 連結子会社株式の売却に<br>よる持分の増減       |      | 15    |        |      | 15     |
| 株主資本以外の項目の当連<br>結会計年度変動額（純額） |      |       |        |      |        |
| 当連結会計年度変動額合計                 | 3    | 18    | 1,575  | △0   | 1,597  |
| 当連結会計年度末残高                   | 787  | 984   | 20,988 | △127 | 22,633 |

|                              | その他の包括利益累計額          |              |                      |                       | 新株<br>予約権 | 非支配<br>株主分 | 純資産<br>合計 |
|------------------------------|----------------------|--------------|----------------------|-----------------------|-----------|------------|-----------|
|                              | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 退職給付<br>に係る<br>調整累計額 | その他の<br>包括利益<br>累計額合計 |           |            |           |
| 当連結会計年度期首残高                  | 12                   | 1            | △21                  | △8                    | 124       | 1,195      | 22,347    |
| 当連結会計年度変動額                   |                      |              |                      |                       |           |            |           |
| 新株の発行                        |                      |              |                      |                       |           |            | 6         |
| 剰余金の配当                       |                      |              |                      |                       |           |            | △1,397    |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |                      |              |                      |                       |           |            | 2,956     |
| 自己株式の取得                      |                      |              |                      |                       |           |            | △0        |
| 連結子会社の新規連結に<br>伴う剰余金増加高      |                      |              |                      |                       |           |            | 16        |
| 連結子会社株式の売却に<br>よる持分の増減       |                      |              |                      |                       |           |            | 15        |
| 株主資本以外の項目の当連<br>結会計年度変動額（純額） | △12                  | △0           | 49                   | 37                    | △2        | △35        | △0        |
| 当連結会計年度変動額合計                 | △12                  | △0           | 49                   | 37                    | △2        | △35        | 1,596     |
| 当連結会計年度末残高                   | 0                    | 0            | 28                   | 29                    | 122       | 1,159      | 23,944    |

（注）記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



## 連結注記表

( 2019年1月1日から  
2019年12月31日まで )

### 【連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記】

#### 1. 連結の範囲に関する事項

##### (1) 連結子会社の状況

連結子会社の数

32社

主要な連結子会社の名称

㈱ワールドインテック

㈱ワールドネクスト

台湾英特科(股)

蘇州英特科製造外包有限公司

㈱ワールドコンストラクション

九州地理情報㈱

日研テクノ㈱

西肥情報サービス㈱

DOTワールド㈱

㈱ワールドスタッフィング

㈱ワールドレジデンシャル

㈱ワールドアイシテイ

㈱ワールドウィステリアホームズ

㈱ワールドミクニ

ニチモリアルエステート㈱

豊栄建設㈱

㈱ミクニ

エムズワールド㈱

㈱オオマチワールド

㈱イーサポート

㈱ネットワークソリューション

㈱ベストITビジネス

㈱ファーム

㈱クラウドイト

㈱アドバン

前連結会計年度において、非連結子会社でありました豊栄ホーム㈱は、重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

前連結会計年度において、非連結子会社でありました㈱北山レーベンは、重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

前連結会計年度において、連結子会社でありました㈱モバイルサービスは、2019年4月1日付で当社の連結子会社である㈱イーサポートを存続会社とした吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

㈱ワールドネクストは、2019年8月1日付で㈱ワールドインテック福島より商号変更しております。

(2) 非連結子会社の状況

非連結子会社の名称

㈱JWソリューション

P. T. ワールド デベロップメント インドネシア等

連結の範囲から除いた理由

非連結子会社は小規模であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結計算書類に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用会社はありません。

持分法を適用していない非連結子会社（㈱JWソリューション、P. T. ワールドデベロップメント インドネシア等）及び関連会社（サクセス協同組合等）は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結計算書類に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。

| 会社名            | 決算日   |
|----------------|-------|
| ㈱イーサポート        | 9月30日 |
| ㈱ネットワークソリューション | 9月30日 |
| ㈱ベストITビジネス     | 9月30日 |
| ㈱堺ファーム         | 3月31日 |
| ㈱美濃加茂ファーム      | 3月31日 |
| ㈱日野ファーム        | 3月31日 |
| ㈱北山ファーム        | 3月31日 |
| ㈱北山レーベン        | 3月31日 |

決算日が9月30日の連結子会社については、連結計算書類の作成にあたり、連結子会社の決算日現在の計算書類を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

決算日が3月31日の連結子会社については、連結計算書類の作成にあたり、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく計算書類を使用しております。

#### 4. 会計方針に関する事項

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

###### ・時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

###### ・時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

##### (2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ

時価法によっております。

##### (3) たな卸資産の評価基準及び評価方法

###### ① 商品及び製品

主として最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

###### ② 販売用不動産

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

###### ③ 仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

###### ④ 仕掛販売用不動産

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

##### (4) 固定資産の減価償却の方法

###### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

主として、定率法によっております。

ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物は定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

|         |       |
|---------|-------|
| 建物及び構築物 | 3～39年 |
| その他     | 2～20年 |

###### ② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における見込利用可能期間（5年）による定額法によっております。

- ③ リース資産
- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
  - ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- (5) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金
- 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金
- 一部の連結子会社においては従業員への賞与の支給に備え支給見込額に基づいて計上しております。
- ③ 役員退職慰労引当金
- 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく連結会計年度末要支給見込額を計上しております。
- (6) 退職給付に係る会計処理の方法
- ① 退職給付見込額の期間帰属方法
- 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
- ② 数理計算上の差異の費用処理方法
- 数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌連結会計年度から費用処理することとしております。
- ③ 小規模会社等における簡便法の採用
- 一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
- (7) のれんの償却に関する事項
- のれんは、発生年度に効果の発現する期間の見積りが可能なものについてはその年数で、それ以外のものについては5年間で均等償却しております。
- (8) 重要なヘッジ会計の方法
- ① ヘッジ会計の方法
- 金利スワップ取引については特例処理の要件を満たしているものについては、特例処理を採用しております。
- ② ヘッジ手段とヘッジ対象
- 借入金支払利息を対象に金利スワップ取引によりヘッジを行っております。
- ③ ヘッジ方針
- 借入金の金利変動リスクを回避する目的で金利スワップ取引を行っております。
- ④ ヘッジの有効性評価の方法
- 特例処理の要件を満たしているものについては、有効性の評価を省略しております。

(9) その他連結計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当連結会計年度の費用として処理しております。

#### 【表示方法の変更に関する注記】

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「前受金」は、重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

#### 【連結貸借対照表に関する注記】

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

|                |          |           |
|----------------|----------|-----------|
| (1) 担保に供している資産 | 販売用不動産   | 973百万円    |
|                | 仕掛販売用不動産 | 16,929百万円 |
|                | 建物及び構築物  | 199百万円    |
|                | 土地       | 699百万円    |
|                | 計        | 18,802百万円 |
| (2) 担保に係る債務    | 短期借入金    | 12,978百万円 |
|                | 長期借入金    | 5,536百万円  |
|                | 計        | 18,515百万円 |

2. 有形固定資産の減価償却累計額 9,738百万円

3. 受取手形割引高 105百万円

4. 保証債務

次の顧客等について、金融機関等からの借入に対し債務保証を行っております。

住宅ローン利用顧客 486百万円

## 【連結損益計算書に関する注記】

### 1. 減損損失

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

#### (1) 減損損失を認識した資産

| 用途 | 種類          | 場所      |
|----|-------------|---------|
| 店舗 | 建物及び構築物、その他 | 福岡県福岡市等 |

#### (2) 減損損失の認識に至った経緯

店舗については、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

#### (3) 減損損失の金額

|         |       |
|---------|-------|
| 建物及び構築物 | 40百万円 |
| その他     | 4百万円  |

#### (4) 資産のグルーピングの方法

減損会計の適用にあたって概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位によって資産のグルーピングを行っております。

#### (5) 回収可能価額の算定方法

当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、使用価値を零として評価しております。

### 2. 貸倒引当金繰入額

当社の非連結子会社である P. T. ワールド デベロップメント インドネシアへの長期貸付金に対して貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

【連結株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 発行済株式の種類及び総数

| 発行済株式の種類 | 当連結会計年度期首の株式数 | 当連結会計年度末の株式数 |
|----------|---------------|--------------|
| 普通株式     | 16,956,600株   | 16,961,600株  |

(注) 普通株式の発行済株式の増加5,000株は、新株予約権の行使による新株発行による増加であります。

2. 自己株式の数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首の株式数 | 当連結会計年度末の株式数 |
|-------|---------------|--------------|
| 普通株式  | 120,929株      | 121,000株     |

(注) 自己株式の株式数の増加71株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額 (円) | 基準日         | 効力発生日      |
|--------------------|-------|-----------------|------------------|-------------|------------|
| 2019年2月12日<br>取締役会 | 普通株式  | 1,397           | 83.0             | 2018年12月31日 | 2019年3月20日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

| 決議                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 配当の原資 | 1株当たり<br>配当額 (円) | 基準日         | 効力発生日      |
|--------------------|-------|-----------------|-------|------------------|-------------|------------|
| 2020年2月10日<br>取締役会 | 普通株式  | 887             | 利益剰余金 | 52.7             | 2019年12月31日 | 2020年3月23日 |

4. 新株予約権等（権利行使期間の初日が到来していないものを除く）の目的となる株式の種類及び数

| 新株予約権等の目的となる株式の種類 | 当連結会計年度期首の株式数 | 当連結会計年度末の株式数 |
|-------------------|---------------|--------------|
| 普通株式              | 363,900株      | 356,900株     |

(注) 新株予約権等の減少7,000株は第1回新株予約権の行使等によるものであります。

## 【金融商品に関する注記】

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については安全性の高い金融資産で運用し、また、資金調達については銀行借入によっております。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、債権管理規程及び与信管理規程に従い債権管理部門において取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

有価証券及び投資有価証券は、主に業務上の関係を有する企業の株式や債券であり、市場価格の変動リスクに晒されております。当該リスクに関しては、定期的に時価や発行体(取引先企業)の財務状況等を把握し、市況や取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

借入金は、不動産事業の所要資金及び子会社株式の取得に係る資金調達を目的としたものであり、金利の変動リスク及び流動性リスクに晒されております。当該リスクに関しては、各部署からの報告に基づき財務部門が適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより管理しております。

#### (3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

2019年12月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

|                  | 連結貸借対照表計上額<br>(百万円) | 時 価<br>(百万円) | 差 額<br>(百万円) |
|------------------|---------------------|--------------|--------------|
| (1) 現金及び預金       | 16,513              | 16,513       | —            |
| (2) 受取手形及び売掛金    | 12,093              | 12,093       | —            |
| (3) 有価証券及び投資有価証券 | 119                 | 119          | —            |
| 資産計              | 28,726              | 28,726       | —            |
| (1) 短期借入金        | 22,001              | 22,001       | —            |
| (2) 長期借入金 (※)    | 14,291              | 14,322       | 30           |
| 負債計              | 36,293              | 36,324       | 30           |

(※) 1年内返済予定の長期借入金を含めております。



(注) 1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、並びに(2) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式等は取引所の価格によっており、債券は取引金融機関等から提示された価格によっております。

負 債

(1) 短期借入金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）

時価については、元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

| 区分                       | 連結貸借対照表計上額<br>(百万円) |
|--------------------------|---------------------|
| 非上場株式                    | 608                 |
| 非上場債券                    | 14                  |
| 投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資 | 115                 |

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(3)有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

**【1株当たり情報に関する注記】**

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 1株当たり純資産額  | 1,345円71銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 175円59銭   |

## 【重要な後発事象】

### 子会社株式の譲渡

当社は、2020年1月23日開催の取締役会において、当社の連結子会社である豊栄建設㈱の発行済株式の全てをエンデバー・ユナイテッド㈱が運営するエンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合に譲渡するため、譲受会社との間で株式譲渡契約を締結することを決議し、同日付で本件譲渡契約を締結いたしました。なお、本件譲渡手続は2020年3月上旬頃完了予定です。

#### 1. 株式譲渡の理由

2017年1月の子会社化以来、豊栄建設㈱の戸建て事業を、北海道から東北、そして広く首都圏まで展開するべく拡大に取り組んでまいりましたが、一方で地域性が強い事業でもあることから、戦略の実現のためには競合を圧倒的に凌駕するヒト・モノ・カネの投下が肝要となります。このような状況の中で、まず北海道で名実ともにトップ企業となるべく、ともに歩むことのできるパートナーの下で事業成長を目指すべきとの結論にいたりしました。

#### 2. 株式譲渡の相手先

エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合

#### 3. 株式譲渡の時期

2020年3月上旬（予定）

#### 4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引関係

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 名称       | 豊栄建設㈱                  |
| 事業内容     | 住宅販売事業、不動産賃貸事業、リフォーム事業 |
| 当社との取引関係 | 営業上の重要な取引関係はありません。     |

#### 5. 譲渡株式数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡株式数 400株

譲渡価額（見込み） 900百万円

最終的な譲渡価額は、譲渡に先立ち実施される配当金額とともに、財務数値等を含む本件譲渡契約記載の条件に基づき決定される予定です。このため、上記金額から変動する可能性があります。

譲渡に伴う損益（見込み） 120百万円（利益）

株式譲渡により税務上の譲渡損が発生し、当社において税務上の繰越欠損金が発生する見込みですが、当該欠損金に係る繰延税金資産の計上は検討中です。

譲渡後の持分比率 ー％

#### 6. 譲渡する事業が含まれている報告セグメントの名称

不動産事業

# 貸借対照表

(2019年12月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目       | 金 額    | 科 目             | 金 額    |
|-----------|--------|-----------------|--------|
| 資 産 の 部   |        | 負 債 の 部         |        |
| 流 動 資 産   | 14,422 | 流 動 負 債         | 17,615 |
| 現金及び預金    | 2,888  | 短期借入金           | 17,470 |
| 売掛金       | 151    | 未払消費税等          | 9      |
| 関係会社短期貸付金 | 10,623 | その他             | 135    |
| 未収還付法人税等  | 632    | 固 定 負 債         | 7,601  |
| その他       | 126    | 長期借入金           | 7,547  |
| 固 定 資 産   | 27,007 | 役員退職慰労引当金       | 54     |
| 有形固定資産    | 154    | 負 債 合 計         | 25,217 |
| 無形固定資産    | 171    | 純 資 産 の 部       |        |
| 投資その他の資産  | 26,680 | 株 主 資 本         | 16,080 |
| 投資有価証券    | 242    | 資 本 金           | 787    |
| 関係会社株式    | 12,066 | 資 本 剰 余 金       | 981    |
| 関係会社出資金   | 9      | 資 本 準 備 金       | 950    |
| 関係会社長期貸付金 | 13,903 | その他資本剰余金        | 30     |
| 繰延税金資産    | 192    | 利 益 剰 余 金       | 14,438 |
| その他       | 281    | 利 益 準 備 金       | 3      |
| 貸倒引当金     | △15    | その他利益剰余金        | 14,435 |
| 資 産 合 計   | 41,429 | 別 途 積 立 金       | 1,300  |
|           |        | 繰越利益剰余金         | 13,135 |
|           |        | 自 己 株 式         | △127   |
|           |        | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 9      |
|           |        | その他有価証券評価差額金    | 9      |
|           |        | 新 株 予 約 権       | 122    |
|           |        | 純 資 産 合 計       | 16,211 |
|           |        | 負 債 純 資 産 合 計   | 41,429 |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

（ 2019年1月1日から  
2019年12月31日まで ）

(単位：百万円)

| 科 目                     | 金 額   |       |
|-------------------------|-------|-------|
| 売 上 高                   |       | 1,652 |
| 売 上 総 利 益               |       | 1,652 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     |       | 1,615 |
| 営 業 利 益                 |       | 37    |
| 営 業 外 収 益               |       |       |
| 受 取 利 息                 | 238   |       |
| 受 取 配 当 金               | 3,575 |       |
| そ の 他                   | 303   | 4,117 |
| 営 業 外 費 用               |       |       |
| 支 払 利 息                 | 105   |       |
| そ の 他                   | 0     | 105   |
| 経 常 利 益                 |       | 4,049 |
| 特 別 利 益                 |       |       |
| 関 係 会 社 株 式 売 却 益       | 25    | 25    |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |       | 4,074 |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 95    |       |
| 法 人 税 等 調 整 額           | △7    | 87    |
| 当 期 純 利 益               |       | 3,986 |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

( 2019年1月1日から )  
( 2019年12月31日まで )

(単位：百万円)

|                                 | 株主資本 |       |              |             |          |             |        |             |      | 株主資本<br>合計 |
|---------------------------------|------|-------|--------------|-------------|----------|-------------|--------|-------------|------|------------|
|                                 | 資本金  | 資本剰余金 |              |             | 利益剰余金    |             |        |             | 自己株式 |            |
|                                 |      | 資本準備金 | その他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合計 | 利益準備金    | その他利益剰余金    |        | 利益剰余金<br>合計 |      |            |
|                                 |      |       |              |             | 別<br>積立金 | 繰越利益<br>剰余金 |        |             |      |            |
| 当期首残高                           | 784  | 947   | 30           | 978         | 3        | 1,300       | 10,546 | 11,849      | △126 | 13,485     |
| 事業年度中の変動額                       |      |       |              |             |          |             |        |             |      |            |
| 新株の発行                           | 3    | 3     |              | 3           |          |             |        |             |      | 6          |
| 剰余金の配当                          |      |       |              |             |          |             | △1,397 | △1,397      |      | △1,397     |
| 当期純利益                           |      |       |              |             |          |             | 3,986  | 3,986       |      | 3,986      |
| 自己株式の取得                         |      |       |              |             |          |             |        |             | △0   | △0         |
| 株主資本以外の<br>項目の事業年度中<br>の変動額(純額) |      |       |              |             |          |             |        |             |      |            |
| 事業年度中の変動額合計                     | 3    | 3     | -            | 3           | -        | -           | 2,589  | 2,589       | △0   | 2,595      |
| 当期末残高                           | 787  | 950   | 30           | 981         | 3        | 1,300       | 13,135 | 14,438      | △127 | 16,080     |

|                                 | 評価・換算差額等         |                | 新株予約権 | 純資産合計  |
|---------------------------------|------------------|----------------|-------|--------|
|                                 | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |       |        |
| 当期首残高                           | 20               | 20             | 124   | 13,630 |
| 事業年度中の変動額                       |                  |                |       |        |
| 新株の発行                           |                  |                |       | 6      |
| 剰余金の配当                          |                  |                |       | △1,397 |
| 当期純利益                           |                  |                |       | 3,986  |
| 自己株式の取得                         |                  |                |       | △0     |
| 株主資本以外の<br>項目の事業年度中<br>の変動額(純額) | △11              | △11            | △2    | △14    |
| 事業年度中の変動額合計                     | △11              | △11            | △2    | 2,581  |
| 当期末残高                           | 9                | 9              | 122   | 16,211 |

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

( 2019年1月1日から  
2019年12月31日まで )

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

#### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

##### (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

##### (2) その他有価証券

・時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

・時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

主として、定率法によっております。

ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物は定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

|     |       |
|-----|-------|
| 建物  | 3～15年 |
| その他 | 3～10年 |

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

##### (2) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。

#### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

**【表示方法の変更に関する注記】**

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

**【貸借対照表に関する注記】**

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額   | 152百万円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び債務 |        |
| (1) 短期金銭債権          | 271百万円 |
| (2) 短期金銭債務          | 52百万円  |

**【損益計算書に関する注記】**

関係会社との取引高

|                |          |
|----------------|----------|
| (1) 営業取引による取引高 |          |
| ① 売上高          | 1,652百万円 |
| ② 販売費及び一般管理費   | 568百万円   |
| (2) 営業取引以外の取引高 |          |
| 営業外収益          | 4,083百万円 |

**【株主資本等変動計算書に関する注記】**

自己株式の数に関する事項

| 株 式 の 種 類 | 当事業年度期首の株式数 | 当事業年度末の株式数 |
|-----------|-------------|------------|
| 普 通 株 式   | 120,929株    | 121,000株   |

（注）自己株式の株式数の増加71株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

【税効果会計に関する注記】

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 繰延税金資産                |         |
| 関係会社株式（会社分割に伴う承継会社株式） | 176百万円  |
| 関係会社株式評価損             | 223百万円  |
| その他                   | 76百万円   |
| 繰延税金資産小計              | 476百万円  |
| 評価性引当額                | △283百万円 |
| 繰延税金資産合計              | 192百万円  |
| 繰延税金負債                |         |
| その他有価証券評価差額金          | △0百万円   |
| 繰延税金負債合計              | △0百万円   |
| 繰延税金資産の純額             | 192百万円  |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異の原因となった主な項目別の内訳

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 法定実効税率            | 30.4% |
| (調整)              |       |
| 所得税額控除            | 0.5   |
| 受取配当金等の益金不算入      | △28.4 |
| 交際費等損金に算入されない項目   | 0.0   |
| 住民税均等割等           | 0.1   |
| 評価性引当額増減          | 0.0   |
| その他               | △0.5  |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | 2.2%  |



【関連当事者との取引に関する注記】

子会社

| 種類        | 会社等の名称          | 資本金又は出資金<br>(百万円) | 事業の内容       | 議決権等の所有割合(%)  | 関連当事者との関係                                         | 取引の内容      | 取引金額<br>(百万円) | 科目        | 期末残高<br>(百万円) |
|-----------|-----------------|-------------------|-------------|---------------|---------------------------------------------------|------------|---------------|-----------|---------------|
| 子会社       | ㈱ワールドインテック      | 450               | 人材派遣、業務請負   | (所有) 直接 100.0 | 経営指導料の受取<br>従業員の出向<br>利益剰余金配当の受取<br>役員の兼任         | 経営指導料(注) 2 | 766           | 売掛金       | 70            |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 出向負担金(注) 3 | 223           | その他流動負債   | 22            |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 受取配当金(注) 4 | 1,360         | —         | —             |
| 子会社       | 九州地理情報㈱         | 100               | システム開発受託業務等 | (所有) 直接 51.0  | 業務委託費の支払<br>役員の兼任                                 | 業務委託費      | 250           | その他流動負債   | 22            |
| 子会社       | ㈱ワールドレジデンシャル    | 300               | 不動産開発分譲等    | (所有) 直接 100.0 | 経営指導料の受取<br>資金の援助<br>利益剰余金配当の受取<br>役員の兼任<br>担保の受入 | 経営指導料(注) 2 | 370           | 売掛金       | 33            |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 受取配当金(注) 4 | 1,120         | —         | —             |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 事業資金の貸付    | 3,963         | 関係会社短期貸付金 | 4,083         |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 事業資金の貸付    | 5,980         | 関係会社長期貸付金 | 5,499         |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 利息の受取(注) 5 | 130           | その他流動資産   | 34            |
| 担保受入(注) 6 | 7,104           | —                 | —           |               |                                                   |            |               |           |               |
| 子会社       | ㈱ワールドアイシテイ      | 300               | 不動産開発分譲等    | (所有) 直接 100.0 | 経営指導料の受取<br>資金の援助<br>利益剰余金配当の受取<br>役員の兼任<br>担保の受入 | 経営指導料(注) 2 | 80            | 売掛金       | 7             |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 受取配当金(注) 4 | 80            | —         | —             |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 事業資金の貸付    | 496           | 関係会社短期貸付金 | 1,297         |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 事業資金の貸付    | 3,034         | 関係会社長期貸付金 | 3,422         |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 利息の受取(注) 5 | 48            | その他流動資産   | 20            |
| 担保受入(注) 6 | 2,982           | —                 | —           |               |                                                   |            |               |           |               |
| 子会社       | ㈱ワールドウィステリアホームズ | 300               | 不動産開発分譲等    | (所有) 直接 100.0 | 経営指導料の受取<br>資金の援助<br>利益剰余金配当の受取<br>役員の兼任<br>担保の受入 | 経営指導料(注) 2 | 30            | 売掛金       | 2             |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 受取配当金(注) 4 | 220           | —         | —             |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 事業資金の貸付    | 871           | 関係会社短期貸付金 | 871           |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 事業資金の貸付    | 831           | 関係会社長期貸付金 | 831           |
|           |                 |                   |             |               |                                                   | 利息の受取(注) 5 | 5             | その他流動資産   | 4             |
| 担保受入(注) 6 | 1,770           | —                 | —           |               |                                                   |            |               |           |               |

| 種類  | 会社等の名称               | 資本金又は出資金<br>(百万円) | 事業の内容                          | 議決権等<br>の(被所有)<br>割合(%) | 関連当<br>事者の<br>関係                                          | 取引の内容          | 取引金額<br>(百万円) | 科目            | 期末残高<br>(百万円) |
|-----|----------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 子会社 | ニチモリアル<br>エステート<br>㈱ | 160               | 不動産開発<br>分譲等                   | (所有)<br>直接<br>100.0     | 経営指導料<br>の受取<br>資金の援助<br>利益剰余金<br>配当の受取<br>役員の兼任<br>担保の受入 | 経営指導料<br>(注) 2 | 80            | 売掛金           | 7             |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 受取配当金<br>(注) 4 | 50            | —             | —             |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 事業資金の<br>貸付    | 3,269         | 関係会社<br>長期貸付金 | 4,145         |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 利息の受取<br>(注) 5 | 15            | その他流<br>動資産   | 12            |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 担保受入<br>(注) 6  | 4,672         | —             | —             |
| 子会社 | ㈱ミクニ                 | 95                | 総合不動産<br>業                     | (所有)<br>直接<br>100.0     | 経営指導料<br>の受取<br>資金の援助<br>利益剰余金<br>配当の受取<br>役員の兼任<br>担保の受入 | 経営指導料<br>(注) 2 | 136           | 売掛金           | 12            |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 受取配当金<br>(注) 4 | 500           | —             | —             |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 事業資金の<br>貸付    | —             | 関係会社<br>短期貸付金 | 899           |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 利息の受取<br>(注) 5 | 13            | その他流<br>動資産   | 6             |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 担保受入<br>(注) 6  | 833           | —             | —             |
| 子会社 | ㈱オオマチ<br>ワールド        | 90                | ユニットハ<br>ウスの製<br>造・販売・<br>レンタル | (所有)<br>直接<br>100.0     | 経営指導料<br>の受取<br>資金の援助<br>役員の兼任                            | 経営指導料<br>(注) 2 | 24            | 売掛金           | 2             |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 事業資金の<br>貸付    | 400           | 関係会社<br>短期貸付金 | 510           |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 利息の受取<br>(注) 5 | 1             | その他流<br>動資産   | 0             |
| 子会社 | ㈱ファーム                | 300               | 農業公園事<br>業                     | (所有)<br>間接<br>100.0     | 資金の援助<br>役員の兼任                                            | 事業資金の<br>貸付    | 210           | 関係会社<br>短期貸付金 | 1,690         |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 利息の受取<br>(注) 5 | 13            | その他流<br>動資産   | 5             |
| 子会社 | みらい債権<br>回収㈱         | 500               | 債権買取回<br>収業務等                  | (所有)<br>直接<br>100.0     | 資金の援助<br>役員の兼任                                            | 事業資金の<br>貸付    | 670           | 関係会社<br>短期貸付金 | 478           |
|     |                      |                   |                                |                         |                                                           | 利息の受取<br>(注) 5 | 0             | その他流<br>動資産   | 0             |

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。  
2. 経営指導料については持株会社である当社の運営費用相当額を連結子会社から応分に収受しております。  
3. 出向者に係る人件費相当額を支払っております。  
4. 受取配当金については、子会社の当期純利益から必要投資額等を控除した金額をベースに協議の上、決定しております。  
5. 資金の借入及び貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。  
6. 担保受入については、当社の銀行借入に対するものであります。

#### 【1株当たり情報に関する注記】

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1. 1株当たり純資産額  | 955円42銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 236円76銭 |

## 【重要な後発事象】

### 子会社株式の譲渡

当社は、2020年1月23日開催の取締役会において、当社の連結子会社である豊栄建設(株)の発行済株式の全てをエンデバー・ユナイテッド(株)が運営するエンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合に譲渡するため、譲受会社との間で株式譲渡契約を締結することを決議し、同日付で本件譲渡契約を締結いたしました。なお、本件譲渡手続は2020年3月上旬頃完了予定です。

#### 1. 株式譲渡の理由

2017年1月の子会社化以来、豊栄建設(株)の戸建て事業を、北海道から東北、そして広く首都圏まで展開するべく拡大に取り組んでまいりましたが、一方で地域性が強い事業でもあることから、戦略の実現のためには競合を圧倒的に凌駕するヒト・モノ・カネの投下が肝要となります。このような状況の中で、まず北海道で名実ともにトップ企業となるべく、ともに歩むことのできるパートナーの下で事業成長を目指すべきとの結論にいたりしました。

#### 2. 株式譲渡の相手先

エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合

#### 3. 株式譲渡の時期

2020年3月上旬(予定)

#### 4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引関係

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 名称       | 豊栄建設(株)                |
| 事業内容     | 住宅販売事業、不動産賃貸事業、リフォーム事業 |
| 当社との取引関係 | 営業上の重要な取引関係はありません。     |

#### 5. 譲渡株式数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

|           |                                                                                         |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 譲渡株式数     | 400株                                                                                    |
| 譲渡価額(見込み) | 900百万円                                                                                  |
|           | 最終的な譲渡価額は、譲渡に先立ち実施される配当金額とともに、財務数値等を含む本件譲渡契約記載の条件に基づき決定される予定です。このため、上記金額から変動する可能性があります。 |

譲渡に伴う損益(見込み) 550百万円(利益)

株式譲渡により税務上の譲渡損が発生し、税務上の繰越欠損金が発生する見込みですが、当該欠損金に係る繰延税金資産の計上は検討中です。

譲渡後の持分比率 1%

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2020年2月12日

株式会社ワールドホールディングス

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 城 戸 昭 博 ㊟  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 高 尾 圭 輔 ㊟  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ワールドホールディングスの2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ワールドホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2020年2月12日

株式会社ワールドホールディングス

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 城 戸 昭 博 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 高 尾 圭 輔 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ワールドホールディングスの2019年1月1日から2019年12月31日までの第27期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2019年1月1日から2019年12月31日までの第27期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年2月14日

株式会社ワールドホールディングス 監査役会

|       |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|
| 常勤監査役 | 山 | 村 | 和 | 幸 | Ⓞ |
| 社外監査役 | 加 | 藤 | 哲 | 夫 | Ⓞ |
| 社外監査役 | 古 | 賀 | 光 | 雄 | Ⓞ |

以 上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 取締役13名選任の件

取締役全員（12名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、経営体制の強化のため1名増員し、取締役13名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>( 生 年 月 日 )                          | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 所 有 す る 当 社<br>株 式 の 数 ( 株 ) |
|------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 1          | い だ え い き ち<br>伊 井 田 栄 吉<br>(1956年 5 月 5 日) | 1981年2月 三晋産業㈱(現㈱ミックニ)代表取締役<br>1997年2月 当社取締役<br>1997年12月 当社代表取締役会長<br>1999年5月 当社代表取締役社長<br>2001年12月 ㈱ワールドグリーンスタッフ(現㈱ワールドコンストラクション)代表取締役<br>2003年7月 みくに産業㈱(現㈱ミックニ)取締役(現任)<br>2006年12月 ㈱イーサポート取締役<br>2007年6月 当社代表取締役会長兼社長(CEO兼COO)<br>2008年7月 九州地理情報㈱代表取締役(現任)<br>2010年2月 ㈱アドバン代表取締役<br>2010年3月 当社代表取締役会長(CEO)<br>2010年4月 ㈱ワールドレジデンシャル代表取締役(現任)<br>2010年6月 ニチモリアルエステート㈱代表取締役(現任)<br>2010年10月 ㈱アドバン取締役(現任)<br>2011年4月 当社代表取締役会長兼社長執行役員<br>2011年11月 ㈱ベストITビジネス取締役<br>2011年12月 当社代表取締役会長兼社長(現任)<br>2012年1月 台湾英特科人力(股)(現台湾英特科(股))董事(現任)<br>2012年2月 ㈱ワールドアイシティ代表取締役<br>2012年11月 DOTインターナショナル㈱(現DOTワールド㈱)代表取締役<br>2012年12月 ㈱ワールドアイシティ取締役<br>2014年3月 ㈱ワールドウィステリアホームズ代表取締役(現任)<br>2014年3月 ㈱ワールドアイシティ代表取締役(現任)<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック代表取締役会長兼社長<br>2014年11月 ㈱ワールドミックニ取締役<br>2014年12月 ㈱ベストITビジネス代表取締役(現任)<br>2015年8月 ㈱大町(現㈱オオマチワールド)代表取締役(現任) | 2, 061, 500                  |



| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                              | 氏 名<br>(生年月日)            | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 所有する当社<br>株式の数(株) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1                                                                                                                                                                                                                      | い い だ えい きち<br>伊 井 田 栄 吉 | 2016年3月 ㈱ワールドミクニ代表取締役(現任)<br>2016年7月 日研テクノ㈱取締役(現任)<br>2016年11月 ㈱ミクニ代表取締役<br>2017年1月 豊栄建設㈱代表取締役(現任)<br>2017年2月 ㈱ファーム代表取締役(現任)<br>2018年2月 西肥情報サービス㈱取締役(現任)<br>2018年8月 D O Tワールド㈱取締役<br>2019年3月 D O Tワールド㈱代表取締役(現任)<br>2019年7月 ㈱ワールドインテック代表取締役会長(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>九州地理情報㈱代表取締役<br>㈱ワールドレジデンシャル代表取締役<br>ニチモリアルエステート㈱代表取締役<br>㈱ワールドウィステリアホームズ代表取締役<br>㈱ワールドアイシティ代表取締役<br>㈱ベストITビジネス代表取締役<br>㈱オオマチワールド代表取締役<br>㈱ワールドミクニ代表取締役<br>豊栄建設㈱代表取締役<br>㈱ファーム代表取締役<br>D O Tワールド㈱代表取締役<br>㈱ワールドインテック代表取締役<br>㈱ミクニ取締役<br>㈱アドバン取締役<br>台湾英特科(股) 董事<br>日研テクノ㈱取締役<br>西肥情報サービス㈱取締役 |                   |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>伊井田栄吉氏は、当社の創業より27年以上にわたり経営を担うとともに、当社グループ子会社の代表取締役を兼務するなど、経営者としての豊富な経験・実績・見識を有しております。また、当社グループの企業価値向上に資する様々な経営課題に着実に取り組んでおり、今後も強いリーダーシップが期待できることから、当社グループの経営基盤強化の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p> |                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                   |

| 候補者<br>番号                                                                                                                              | 氏 名<br>(生年月日)                      | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当社<br>株式の数(株) |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 2                                                                                                                                      | いわ さき とおる<br>岩 崎 亨<br>(1953年6月19日) | 1977年4月 大日本印刷㈱入社<br>1979年2月 ソニー㈱入社<br>2005年6月 ソニー㈱テレビ・ビデオ事業本部ビデオ事業部門長<br>2007年4月 ソニーEMCS㈱執行役員<br>2010年10月 ソニーEMCS㈱常務執行役員<br>2012年12月 当社入社<br>2013年1月 当社副社長執行役員<br>2013年3月 当社取締役副社長執行役員<br>2014年7月 当社取締役 人材事業担当<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック 取締役副社長執行役員<br>2015年3月 ㈱ワールドインテック 代表取締役副社長執行役員<br>2015年3月 DOTインターナショナル㈱(現DOTワールド㈱) 取締役<br>2015年3月 当社取締役副社長 人材事業担当<br>2016年7月 日研テクノ㈱代表取締役(現任)<br>2018年2月 西肥情報サービス㈱代表取締役(現任)<br>2018年3月 当社取締役 人材事業担当(現任)<br>2018年8月 DOTワールド㈱代表取締役<br>2019年3月 DOTワールド㈱取締役(現任)<br>2019年7月 ㈱ワールドインテック 代表取締役社長執行役員(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>日研テクノ㈱代表取締役<br>西肥情報サービス㈱代表取締役<br>㈱ワールドインテック 代表取締役<br>DOTワールド㈱取締役 | —                 |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>岩崎亨氏は、他の事業会社での経験とともに、当社グループの人材事業部門の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p> |                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                   |

| 候補者番号                                                                                                                        | 氏名<br>(生年月日)                          | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社株式の数(株) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| ※<br>3                                                                                                                       | やま だ ひで のり<br>山 田 秀 典<br>(1954年3月10日) | 1988年10月 みくに産業㈱(現㈱ミックニ)入社 取締役<br>1992年6月 ㈱シティコート(現㈱ワールドミックニ)取締役<br>2001年4月 みくに産業㈱(現㈱ミックニ)代表取締役<br>2010年2月 ㈱ワールドレジデンシャル代表取締役<br>2013年4月 M'sコーポレーション㈱(現エムズワールド<br>㈱)取締役(現任)<br>2014年11月 ㈱ワールドミックニ代表取締役(現任)<br>2015年3月 ㈱ワールドレジデンシャル取締役(現任)<br>2015年4月 みくに産業㈱(現㈱ミックニ)代表取締役(現<br>任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱ワールドミックニ代表取締役<br>㈱ミックニ代表取締役<br>エムズワールド㈱取締役<br>㈱ワールドレジデンシャル取締役                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 15,000        |
| <b>■取締役候補者とした理由</b><br>山田秀典氏は、当社グループの不動産事業部門において子会社の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。 |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |               |
| 4                                                                                                                            | なか の しげる<br>中 野 繁<br>(1957年11月9日)     | 1976年4月 ㈱富士銀行(現㈱みずほ銀行)入行<br>2002年10月 ㈱みずほ銀行 せんげん台支店長<br>2004年3月 当社入社<br>2004年5月 ㈱ワールドグリーンスタッフ(現㈱ワール<br>ドコンストラクション)取締役<br>2007年3月 当社執行役員<br>2010年2月 ㈱アドバン監査役(現任)<br>2010年3月 当社取締役執行役員<br>2010年4月 ㈱ワールドレジデンシャル監査役(現任)<br>2010年6月 ニチモリアルエステート㈱監査役(現任)<br>2011年11月 ㈱ベストITビジネス監査役<br>2012年3月 ㈱ワールドインテック福島(現㈱ワール<br>ドネクスト)監査役(現任)<br>2012年11月 DOTインターナショナル㈱(現DOTワ<br>ールド㈱)監査役(現任)<br>2013年1月 当社取締役常務執行役員 経営管理本部長<br>2013年8月 九州地理情報㈱監査役<br>2014年7月 当社取締役 経営管理本部長<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック取締役常務執行役員<br>2015年3月 当社取締役 業務管理本部長<br>2015年4月 みくに産業㈱(現㈱ミックニ)監査役<br>2016年3月 ㈱ベストITビジネス監査役(現任)<br>2016年3月 ㈱イーサポート監査役(現任)<br>2016年3月 ㈱ネットワークソリューション監査役(現<br>任)<br>2016年7月 日研テクノ㈱監査役(現任) | 8,000         |

| 候補者番号                                                                                                                                          | 氏名<br>(生年月日)                    | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社株式の数(株) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 4                                                                                                                                              | なかのしげる<br>中野 繁                  | 2017年1月 当社取締役 経営管理本部長(現任)<br>2018年2月 西肥情報サービス㈱監査役(現任)<br>2018年11月 台湾英特科(股)監察人(現任)<br>2019年7月 ㈱ワールドインテック取締役執行役員(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱ワールドインテック取締役<br>㈱アドバン監査役<br>㈱ワールドレジデンシャル監査役<br>ニチモリアルエステート㈱監査役<br>㈱ワールドネクスト監査役<br>D O Tワールド㈱監査役<br>㈱ベストITビジネス監査役<br>㈱イーサポート監査役<br>㈱ネットワークソリューション監査役<br>日研テクノ㈱監査役<br>西肥情報サービス㈱監査役<br>台湾英特科(股)監察人                                                                                |               |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>中野氏は、金融機関での経験とともに、当社グループの経営管理部門の責任者を務めるなど、経営に対する経験・実績・見識を有しており、当社のグループ経営の推進とコーポレートガバナンスの強化に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p> |                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |               |
| 5                                                                                                                                              | ほんだしんじ<br>本多 信二<br>(1965年7月10日) | 1996年7月 ㈱タイアップ入社<br>2001年3月 ㈱インテレクト代表取締役社長<br>2002年2月 当社入社<br>2002年9月 当社取締役<br>2004年7月 ㈱ワールドグリーンスタッフ(現㈱ワールドコンストラクション)取締役<br>2005年2月 当社常務取締役<br>2010年3月 当社取締役専務執行役員<br>2012年3月 ㈱ワールドインテック福島(現㈱ワールドネクスト)代表取締役(現任)<br>2014年7月 当社取締役 人材事業担当(現任)<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック取締役専務執行役員<br>2017年3月 ㈱ワールドインテック取締役副社長執行役員(現任)<br>2017年6月 ㈱ワールドスタッフング代表取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱ワールドネクスト代表取締役<br>㈱ワールドスタッフング代表取締役<br>㈱ワールドインテック取締役 | 43,000        |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>本多信二氏は、他の事業会社での経験とともに、当社グループの人材事業部門を担当するなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p>           |                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |               |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                  | 氏 名<br>(生年月日)                     | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当社<br>株式の数(株) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| ※<br>6                                                                                                                                     | ゆ かわ ひとし<br>湯 川 均<br>(1953年7月18日) | 1979年4月 ニチモ㈱入社<br>2001年12月 ニチモ㈱取締役兼執行役員住宅事業本部長<br>2007年12月 ニチモ㈱専務取締役兼執行役員住宅事業本部長<br>2009年8月 ニチモリアルエステート㈱取締役<br>2010年9月 ㈱ワールドレジデンシャル取締役<br>2011年3月 ㈱ワールドレジデンシャル専務取締役<br>2013年1月 ㈱ウイステリアホームズ(現㈱ワールドウイステリアホームズ)取締役(現任)<br>2014年4月 ニチモリアルエステート㈱代表取締役<br>2016年1月 ㈱ワールドレジデンシャル代表取締役副社長<br>2016年1月 ㈱ワールドアイシティ取締役(現任)<br>2016年1月 ㈱ワールドミクニ取締役(現任)<br>2018年1月 ㈱ワールドレジデンシャル代表取締役社長(現任)<br>2018年1月 ニチモリアルエステート㈱取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱ワールドレジデンシャル代表取締役<br>㈱ワールドウイステリアホームズ取締役<br>㈱ワールドアイシティ取締役<br>㈱ワールドミクニ取締役<br>ニチモリアルエステート㈱取締役 | 3,000             |
| <b>■取締役候補者とした理由</b><br>湯川均氏は、他の事業会社での経験とともに、当社グループの不動産事業部門において子会社の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。 |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                   |

| 候補者番号                                                                                                                                             | 氏名<br>(生年月日)                 | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社株式の数(株) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 7                                                                                                                                                 | 菅野としひこ<br>利彦<br>(1968年9月23日) | 1995年6月 ㈱タイアップ入社<br>2002年2月 当社入社<br>2002年9月 当社取締役<br>2004年1月 ㈱ワールドグリーンスタッフ(現㈱ワールド<br>ドコンストラクション)取締役<br>2007年12月 ㈱イーサポート代表取締役<br>2007年12月 ㈱ネットワークソリューション代表取締役<br>2010年3月 当社代表取締役社長執行役員(COO)<br>2010年4月 ㈱ワールドレジデンシャル取締役<br>2010年10月 ㈱アドバン代表取締役(現任)<br>2011年3月 当社代表取締役副社長執行役員<br>2011年11月 ㈱ベストITビジネス代表取締役<br>2013年1月 当社経営企画本部長<br>2014年7月 当社取締役<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック取締役副社長執行役<br>員<br>2014年12月 ㈱ベストITビジネス取締役(現任)<br>2015年12月 ㈱イーサポート取締役<br>2015年12月 ㈱ネットワークソリューション取締役<br>2016年3月 当社取締役副社長 経営企画本部長<br>2016年3月 ㈱ワールドインテック取締役専務執行役員<br>2016年10月 ㈱イーサポート代表取締役(現任)<br>2016年10月 ㈱ネットワークソリューション代表取締役<br>2018年3月 当社取締役 経営企画本部長(現任)<br>2018年3月 ㈱ワールドインテック取締役副社長執行役<br>員(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱アドバン代表取締役<br>㈱イーサポート代表取締役<br>㈱ベストITビジネス取締役<br>㈱ワールドインテック取締役 | 45,000        |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>菅野利彦氏は、他の事業会社での経験とともに、当社グループの経営企画部門及び情報通信事業部門の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p> |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |               |

| 候補者<br>番号                                                                                                                             | 氏 名<br>(生年月日)                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当社<br>株式の数(株) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 8                                                                                                                                     | み ます よし ひこ<br>三 舂 善 彦<br>(1954年7月28日) | 1977年4月 ㈱西日本相互銀行(現㈱西日本シティ銀行)<br>入行<br>2007年5月 ㈱西日本シティ銀行 執行役員 福岡地区<br>本部副本部長<br>2008年6月 当社入社<br>2009年4月 当社経営政策本部長<br>2010年3月 当社取締役執行役員<br>2010年12月 ㈱イーサポルト監査役<br>2010年12月 ㈱ネットワークソリューション監査役<br>2011年11月 ㈱ベストITビジネス取締役(現任)<br>2012年8月 九州地理情報㈱監査役<br>2012年12月 ㈱イーサポルト取締役<br>2012年12月 ㈱ネットワークソリューション取締役(現<br>任)<br>2013年1月 当社取締役常務執行役員<br>九州地理情報㈱取締役<br>2014年3月 九州地理情報㈱代表取締役(現任)<br>2014年3月 ㈱アドバン取締役<br>2014年7月 当社取締役 経営政策本部長(現任)<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック取締役常務執行役員<br>(現任)<br>2015年3月 ㈱アドバン代表取締役(現任)<br>2018年2月 西肥情報サービス㈱取締役(現任)<br>2018年11月 ㈱イーサポルト取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>九州地理情報㈱代表取締役<br>㈱アドバン代表取締役<br>㈱ベストITビジネス取締役<br>㈱ネットワークソリューション取締役<br>㈱ワールドインテック取締役<br>西肥情報サービス㈱取締役<br>㈱イーサポルト取締役 | 2,000             |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>三舂善彦氏は、金融機関での経験とともに、当社グループの経営政策部門の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p> |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                   |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                | 氏 名<br>(生年月日)                        | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社<br>株式の数(株) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 9                                                                                                                                        | たか い ゆう じ<br>高 井 裕 二<br>(1959年12月9日) | 1985年4月 ブラザー工業(株)入社<br>1991年7月 兼松(株)入社<br>1999年10月 日本綜合地所(株)入社<br>2005年6月 日本綜合地所(株)取締役<br>2008年4月 (株)ミックプランニング代表取締役<br>2010年12月 (株)ワールドレジデンシャル監査役<br>2011年3月 (株)ワールドレジデンシャル取締役<br>2011年5月 ニチモリアルエステート(株)取締役<br>2011年10月 (株)ワールドレジデンシャル代表取締役<br>2012年2月 (株)ワールドレジセリング(現(株)ワールドコンストラクション)取締役<br>2012年2月 (株)ワールドアイシティ取締役<br>2012年3月 当社取締役執行役員<br>2013年1月 (株)ウイステリアホームズ(現(株)ワールドウイステリアホームズ)取締役<br>当社取締役 不動産事業担当<br>2014年7月 (株)ワールドミックニ取締役<br>2014年11月 (株)ワールドミックニ取締役<br>2015年4月 みくに産業(株)(現(株)ミックニ)取締役<br>2015年8月 (株)大町(現(株)オオマチワールド)取締役<br>2015年12月 (株)ワールドレジデンシャル取締役(現任)<br>2016年1月 当社取締役副社長 不動産事業担当<br>2016年1月 (株)ワールドアイシティ代表取締役<br>2017年1月 豊栄建設(株)取締役<br>2017年2月 (株)ファーム代表取締役(現任)<br>2017年2月 (株)クラウドイト代表取締役(現任)<br>2017年10月 (株)ワールドコンストラクション代表取締役<br>2018年3月 当社取締役 不動産事業担当(現任)<br>2019年3月 (株)ワールドコンストラクション取締役(現任)<br>2019年7月 (株)ワールドインテック取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>(株)ファーム代表取締役<br>(株)クラウドイト代表取締役<br>(株)ワールドレジデンシャル取締役<br>(株)ワールドコンストラクション取締役<br>(株)ワールドインテック取締役 | 3,000             |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>高井裕二氏は、他の事業会社での経験とともに、当社グループの不動産事業部門の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p> |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |



| 候補者番号                                                                                                                                                          | 氏名<br>(生年月日)                           | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当社株式の数(株) |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| ※10                                                                                                                                                            | しお み まさ あき<br>塩 見 政 明<br>(1965年10月27日) | 1988年4月 ㈱三井銀行(現㈱三井住友銀行)入行<br>2005年4月 ㈱リサ・パートナーズ九州支店長<br>2008年12月 三菱UFJリース㈱プリンシパル・インベストメント室長<br>2009年3月 MULプリンシパル・インベストメンツ㈱常務取締役<br>2014年5月 ㈱ルミカ常務取締役<br>2015年5月 当社入社経営開発本部長(現任)<br>2015年9月 ㈱大町(現㈱オオマチワールド)取締役(現任)<br>2016年7月 日研テクノ㈱取締役(現任)<br>2018年2月 西肥情報サービス㈱取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱オオマチワールド取締役<br>日研テクノ㈱取締役<br>西肥情報サービス㈱取締役                 | —             |
| <p>■取締役候補者とした理由</p> <p>塩見政明氏は、金融機関での経験とともに、当社グループの経営開発部門の責任者を務めるなど、事業戦略に関する経験・実績・見識を有しており、当社グループの成長戦略の推進に適任であると判断し、取締役候補者としております。</p>                          |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |               |
| ※11                                                                                                                                                            | ぬき まさ よし<br>貫 正 義<br>(1945年1月27日)      | 1968年4月 九州電力㈱入社<br>2000年6月 九州電力㈱広報部長<br>2001年7月 九州電力㈱理事広報部長<br>2003年6月 九州電力㈱理事鹿児島支店長<br>2003年7月 九州電力㈱執行役員鹿児島支店長<br>2007年6月 九州電力㈱取締役常務執行役員事業開発本部長情報通信本部長<br>2009年6月 九州電力㈱代表取締役副社長お客さま本部長<br>2010年6月 九州電力㈱代表取締役副社長<br>2012年4月 九州電力㈱代表取締役会長<br>2013年6月 九州旅客鉄道㈱取締役(現任)<br>2018年6月 九州電力㈱相談役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>九州旅客鉄道㈱取締役<br>九州電力㈱相談役<br>福岡経済同友会代表幹事 | —             |
| <p>■社外取締役候補者とした理由</p> <p>貫正義氏は、九州電力㈱や九州旅客鉄道㈱の経営に長年にわたり携わるとともに、九州財界で活躍されるなどその豊富な経験と幅広い見識に基づき、業務執行から独立した客観的な立場から、当社の経営に的確な提言・助言をいただけるものと判断し、社外取締役候補者としております。</p> |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |               |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                          | 氏名<br>(生年月日)                             | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する当社株式の数(株) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 12                                                                                                                                                                                             | いがらし 伸吾<br>(戸籍上の氏名 田路伸吾)<br>(1959年7月16日) | 1983年4月 ㈱三和銀行(現㈱三菱UFJ銀行)入行<br>1993年3月 (財)三和ベンチャー育成基金(現(公財)三菱UFJ技術育成財団)総務部長<br>2005年3月 九州大学ベンチャービジネスラボラトリー次長<br>同経済学府産業マネジメント専攻(ビジネススクール)准教授(現任)<br>2005年8月 ㈱トランスサイエンス上席執行役員<br>2010年10月 九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター副センター長(現任)<br>2019年3月 当社取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>九州大学経済学府産業マネジメント専攻准教授<br>九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター副センター長                                                                 | —             |
| <p>■社外取締役候補者とした理由</p> <p>五十嵐伸吾氏は、金融機関での豊富な経験や㈱トランスサイエンスの上席執行役員としての経験及び大学における研究活動を通じた人材育成、政府系機関において委員を務めるなどその豊富な経験と幅広い見識に基づき、業務執行から独立した客観的な立場から、当社の経営に的確な提言・助言をいただけるものと判断し、社外取締役候補者としております。</p> |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |               |
| 13                                                                                                                                                                                             | やま さき ひで き<br>山崎英樹<br>(1962年3月26日)       | 1981年4月 トヨタオート大阪㈱入社<br>1983年4月 ㈱ミューウ代表取締役(現任)<br>1989年8月 (社)国際教育振興財団事務局長<br>1991年10月 カルトーニ㈱代表取締役(現任)<br>2010年1月 (公社)子どもの発達科学研究所理事(現任)<br>2015年3月 (地独)大阪府立病院機構本部顧問(現任)<br>2015年4月 (特非)日本医学ジャーナリスト協会会員(現任)<br>2016年10月 (一社)メディカルサイエンススペーストリソンス研究所代表理事(現任)<br>2019年3月 当社取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱ミューウ代表取締役<br>カルトーニ㈱代表取締役<br>(一社)メディカルサイエンススペーストリソンス研究所代表理事<br>(公社)子どもの発達科学研究所理事<br>(地独)大阪府立病院機構本部顧問 | —             |
| <p>■社外取締役候補者とした理由</p> <p>山崎英樹氏は、会社経営・組織運営に関する豊富な経験・実績・見識を有しており、その豊富な経験と幅広い見識に基づき、業務執行から独立した客観的な立場から、当社の経営に的確な提言・助言をいただけるものと判断し、社外取締役候補者としております。</p>                                            |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |               |

- (注) 1. 候補者番号の※印は、新任取締役候補者を示しております。  
2. 各取締役候補者と当社の間には特別の利害関係はありません。  
3. 五十嵐伸吾氏、山崎英樹氏及び貫正義氏は、社外取締役候補者であります。

4. 五十嵐伸吾氏、山崎英樹氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって両氏ともに1年となります。
5. 当社は、五十嵐伸吾氏及び山崎英樹氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としており、五十嵐伸吾氏及び山崎英樹氏の再任が承認された場合は、当該契約を継続する予定であります。また、貫正義氏が選任された場合は、貫正義氏との間で同様の責任限定契約を締結する予定であります。
6. 当社は五十嵐伸吾氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。五十嵐伸吾氏が再任された場合は、当社は引き続き独立役員とする予定であります。  
また、貫正義氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

## 第2号議案 監査役2名選任の件

監査役山村和幸氏及び監査役古賀光雄氏は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査役2名の選任をお願いするものであります。

また、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号                                                                                                                                             | 氏名<br>(生年月日)          | 略歴、当社における地位<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する当社株式の数(株) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 1                                                                                                                                                 | 山村和幸<br>(1951年12月10日) | 1974年4月 三井鉱山㈱(現日本コークス工業㈱)入社<br>1996年4月 三井鉱山㈱(現日本コークス工業㈱)環境事業本部 エンジニアリング部副部長<br>1999年7月 当社入社 安全衛生室長<br>2014年7月 ㈱ワールドインテック 安全衛生室長<br>2017年3月 当社常勤監査役(現任)<br>2017年3月 ㈱ワールドインテック常勤監査役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>㈱ワールドインテック常勤監査役                                                                                                                                                                                                               | 11,600        |
| ■監査役候補者とした理由<br>山村和幸氏は、他の事業会社での経験とともに、当社グループの安全衛生に関する責任者を務めるなど、事業運営に関する経験・見識を有しており、客観的・公正な立場で業務執行に関する適切な監査を行えるものと判断し、監査役候補者としております。               |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |               |
| 2                                                                                                                                                 | 古賀光雄<br>(1946年12月1日)  | 1969年4月 伏見公認会計士事務所入所<br>1975年1月 アーンストアンドアーンスト・ジャパン会計事務所入所<br>1978年1月 等松・青木監査法人(現有限責任監査法人トーマツ)入所<br>1995年5月 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)代表社員<br>1995年5月 トーマツコンサルティング㈱(現デロイトトーマツコンサルティング㈱)代表取締役<br>1997年10月 トーマツ・ベンチャーサポート㈱代表取締役<br>2012年2月 古賀マネージメント総研㈱代表取締役(現任)<br>2012年3月 当社監査役(現任)<br>2014年2月 ワールドインテック分割準備㈱(現㈱ワールドインテック)監査役(現任)<br>2015年12月 ㈱テノ・ホールディングス監査役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>古賀マネージメント総研㈱代表取締役<br>㈱ワールドインテック監査役<br>㈱テノ・ホールディングス監査役 | —             |
| ■社外監査役候補者とした理由<br>古賀光雄氏は、長年の公認会計士としての経験から、会社の監査業務に十分な見識を有しており、社外監査役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、社外監査役候補者としております。なお、同氏の監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって8年となります。 |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |               |

(注) 1. 各監査役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

2. 古賀光雄氏は社外監査役候補者であります。

3. 当社は、古賀光雄氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としており、本議案が承認された場合、当社は古賀光雄氏との契約を継続する予定であります。

### 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第3項の規定に基づき、予め補欠監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                  | 略歴<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当社株式の数(株) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <p>たなか はるお<br/>田 中 晴 雄<br/>(1958年5月7日)</p>                                                                                    | <p>1982年4月 (宗) 壺友会本部入局<br/>1996年2月 当社入社<br/>2002年1月 当社総務経理部長<br/>2005年1月 当社総務部長<br/>2009年1月 当社内部監査室長<br/>2010年1月 当社法務部長(現任)<br/>2014年7月 ㈱ワールドインテック法務部長<br/>2017年1月 ㈱ワールドインテック執行役員法務部長(現任)<br/><br/>(重要な兼職の状況)<br/>㈱ワールドインテック執行役員法務部長</p> | <p>200</p>    |
| <p>■補欠監査役候補者とした理由<br/>田中晴雄氏は、当社グループの法務部門の責任者を務めるなど、事業運営に関する経験・見識を有しており、客観的・公正な立場で業務執行に関する適切な監査を行えるものと判断し、補欠監査役候補者としております。</p> |                                                                                                                                                                                                                                          |               |

(注) 補欠監査役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

#### 第4号議案 ストック・オプションとして新株予約権を発行する件(1)

会社法第236条、第238条ならびに第239条の規定に基づき、当社及び当社子会社の取締役(社外取締役を除く。)、当社及び当社子会社の従業員に対し、税制適格ストック・オプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することにつき、ご承認をお願いするものであります。

1. 特に有利な条件をもって新株予約権を引き受ける者の募集をすることを必要とする理由

当社及び当社子会社の取締役(社外取締役を除く。)、当社及び当社子会社の従業員の当社グループ全体の連結業績向上に対する意欲や士気を喚起するとともに優秀な人材を確保し、企業価値向上に資することを目的とするものであります。

2. 新株予約権の割当対象者

当社及び当社子会社の取締役(社外取締役を除く。)、当社及び当社子会社の従業員

3. 本総会の決定に基づいて募集事項の決定をすることができる新株予約権の内容及び数の上限等

- (1)新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式200,000株を上限とする。

このうち、取締役(社外取締役を除く。)に割り当てる新株予約権の目的となる株式の種類及び数は、当社普通株式100,000株を上限とする。

なお、新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式について株式分割(株式無償割当てを含む。以下、株式分割の記載につき同じ。)または株式併合を行う場合、次の算式により新株予約権の目的となる株式の数(以下、「付与株式数」という。)を調整するものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で権利行使されていない付与株式数について行われ、調整の結果1株未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

調整後付与株式数＝調整前付与株式数×分割・併合の比率

- (2)新株予約権の数

2,000個を上限とする。(新株予約権1個につき100株。ただし、上記(1)に定める株式の数の調整を行った場合は、同様の調整を行う。)

このうち、取締役(社外取締役を除く。)に割り当てる新株予約権の数は、1,000個を上限とする。

(3) 新株予約権と引換えに払込む金銭

新株予約権と引換えに金銭を払込むことを要しないものとする。

(4) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権の行使により交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額(以下、「行使価額」という。)に付与株式数を乗じた金額とする。行使価額は、新株予約権の割当日の属する月の前月の各日(取引が成立していない日を除く。)における東京証券取引所が公表する当社普通株式の普通取引の終値の平均値に1.05を乗じた金額(1円未満の端数は切上げ)とする。ただし、当該金額が新株予約権の割当日の終値(当該日に取引が成立しない場合は、その日に先立つ直近日の終値)を下回る場合は、当該終値を行使価額とする。

なお、新株予約権の割当日後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき、時価を下回る価額で新株を発行または自己株式の処分を行う場合(新株予約権の行使による新株発行または自己株式の処分を行う場合を除く。)は、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times \text{1株当たり払込金額}}{\text{時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

なお、上記算式において「既発行株式数」とは、当社の発行済普通株式総数から当社が保有する普通株式に係る自己株式数を控除した数とし、また、自己株式の処分を行う場合には「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」、「1株当たり払込金額」を「1株当たり処分金額」と読み替える。

さらに、新株予約権の割当日後、当社が合併または会社分割を行う場合等、行使価額の調整をすることが適切な場合は、当社は、合理的な範囲内で行使価額を調整するものとする。

- (5) 新株予約権を行使することができる期間  
新株予約権の割当日より2年を経過した日の属する月の翌月1日から2030年3月19日までとする。
- (6) 新株予約権の行使の条件  
新株予約権者は、権利行使時において、当社または当社子会社の取締役、当社または当社子会社の従業員のいずれかの地位にあることを要する。ただし、当社または当社子会社の取締役を任期満了により退任した場合、または定年により当社または当社子会社の従業員を退職した場合はこの限りではない。
- (7) 新株予約権の取得事由及び条件  
① 当社は、新株予約権者が上記(6)に定める規定により、権利を行使する条件に該当しなくなった場合は、当該新株予約権を無償で取得することができる。  
② 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、または当社が完全子会社となる株式交換契約もしくは株式移転計画承認の議案につき当社株主総会で承認されたときは、当社は新株予約権を無償で取得することができる。
- (8) 新株予約権の譲渡制限  
譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の承認を必要とする。
- (9) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項  
① 新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げる。  
② 新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本準備金の額は、前記①の資本金等増加限度額から前記①に定める増加する資本金の額を減じた額とする。
- (10) その他の新株予約権の募集事項については、別途開催される当社取締役会の決議において定める。



## 第5号議案 ストック・オプションとして新株予約権を発行する件(2)

会社法第236条、第238条ならびに第239条の規定に基づき、当社取締役（社外取締役を除く。）に対し、前号議案のストック・オプションとは別の税制非適格ストック・オプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することにつき、ご承認をお願いするものであります。

1. 特に有利な条件をもって新株予約権を引き受ける者の募集をすることを必要とする理由

当社取締役（社外取締役を除く。）の当社グループ全体の連結業績向上に対する意欲や士気を喚起し、企業価値向上に資することを目的として、前号議案のストック・オプションとは別のストック・オプションを発行するものであります。

2. 新株予約権の割当対象者  
当社取締役（社外取締役を除く。）

3. 本総会の決定に基づいて募集事項の決定をすることができる新株予約権の内容及び数の上限等

- (1) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式300,000株を上限とする。

なお、新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式について株式分割（株式無償割当てを含む。以下、株式分割の記載につき同じ。）または株式併合を行う場合、次の算式により新株予約権の目的となる株式の数（以下、「付与株式数」という。）を調整するものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で権利行使されていない付与株式数について行われ、調整の結果1株未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

調整後付与株式数＝調整前付与株式数×分割・併合の比率

- (2) 新株予約権の数

3,000個を上限とする。（新株予約権1個につき100株。ただし、上記(1)に定める株式の数の調整を行った場合は、同様の調整を行う。）

- (3) 新株予約権と引換えに払込む金銭

新株予約権と引換えに金銭を払込むことを要しないものとする。

(4) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権の行使により交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額（以下、「行使価額」という。）に付与株式数を乗じた金額とする。行使価額は、新株予約権の割当日の属する月の前月の各日（取引が成立していない日を除く。）における東京証券取引所が公表する当社普通株式の普通取引の終値の平均値に1.05を乗じた金額（1円未満の端数は切上げ）とする。ただし、当該金額が新株予約権の割当日の終値（当該日に取引が成立しない場合は、その日に先立つ直近日の終値）を下回る場合は、当該終値を行使価額とする。

なお、新株予約権の割当日後、当社が株式分割または株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき、時価を下回る価額で新株を発行または自己株式の処分を行う場合（新株予約権の行使による新株発行または自己株式の処分を行う場合を除く。）は、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times \text{1株当たり払込金額}}{\text{時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

なお、上記算式において「既発行株式数」とは、当社の発行済普通株式総数から当社が保有する普通株式に係る自己株式数を控除した数とし、また、自己株式の処分を行う場合には「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」、「1株当たり払込金額」を「1株当たり処分金額」と読み替える。

さらに、新株予約権の割当日後、当社が合併または会社分割を行う場合等、行使価額の調整をすることが適切な場合は、当社は、合理的な範囲内で行使価額を調整するものとする。

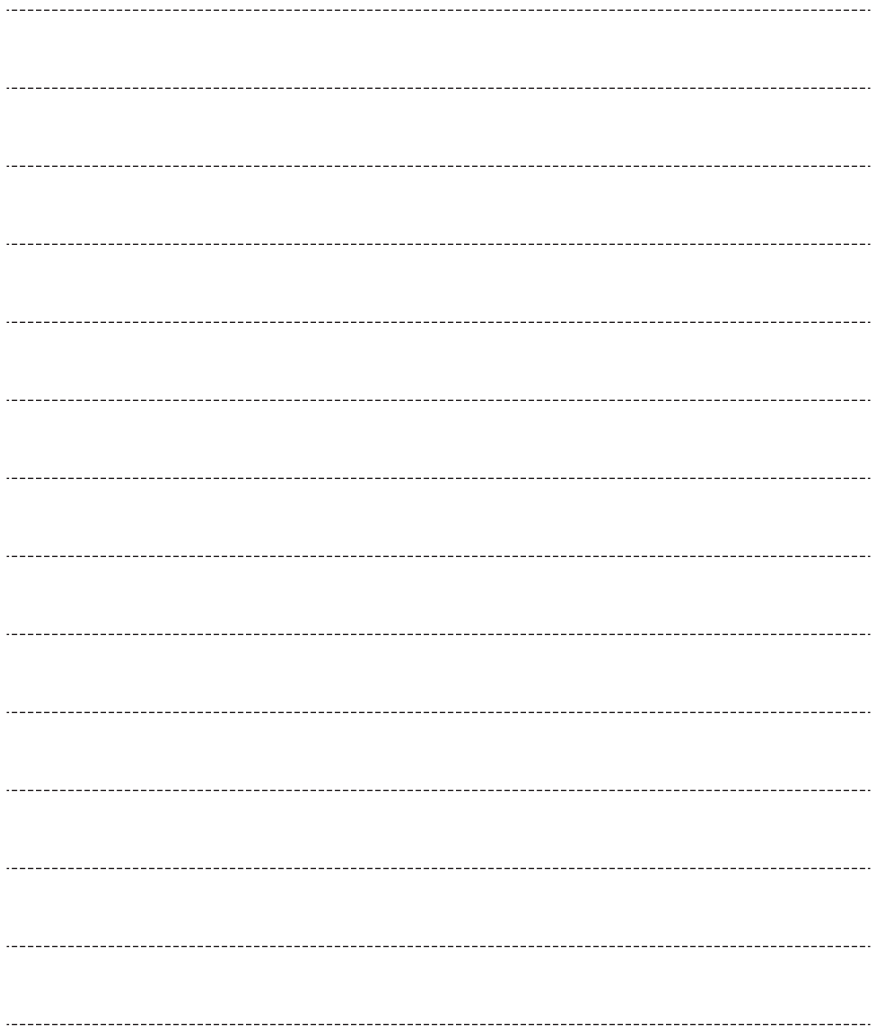
- (5) 新株予約権を行使することができる期間  
割当日から10年間
- (6) 新株予約権の行使の条件  
新株予約権者は、権利行使時において、当社の取締役の地位にあることを要する。ただし、当社の取締役を任期満了により退任した場合はこの限りではない。
- (7) 新株予約権の取得事由及び条件  
① 当社は、新株予約権者が上記(6)に定める規定により、権利を行使する条件に該当しなくなった場合は、当該新株予約権を無償で取得することができる。  
② 当社が消滅会社となる合併契約承認の議案、または当社が完全子会社となる株式交換契約もしくは株式移転計画承認の議案につき当社株主総会で承認されたときは、当社は新株予約権を無償で取得することができる。
- (8) 新株予約権の譲渡制限  
譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の承認を必要とする。
- (9) 新株予約権の行使により株式を発行する場合における増加する資本金及び資本準備金に関する事項  
① 新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げる。  
② 新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本準備金の額は、前記①の資本金等増加限度額から前記①に定める増加する資本金の額を減じた額とする。
- (10) その他の新株予約権の募集事項については、別途開催される当社取締役会の決議において定める。

以 上

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing.



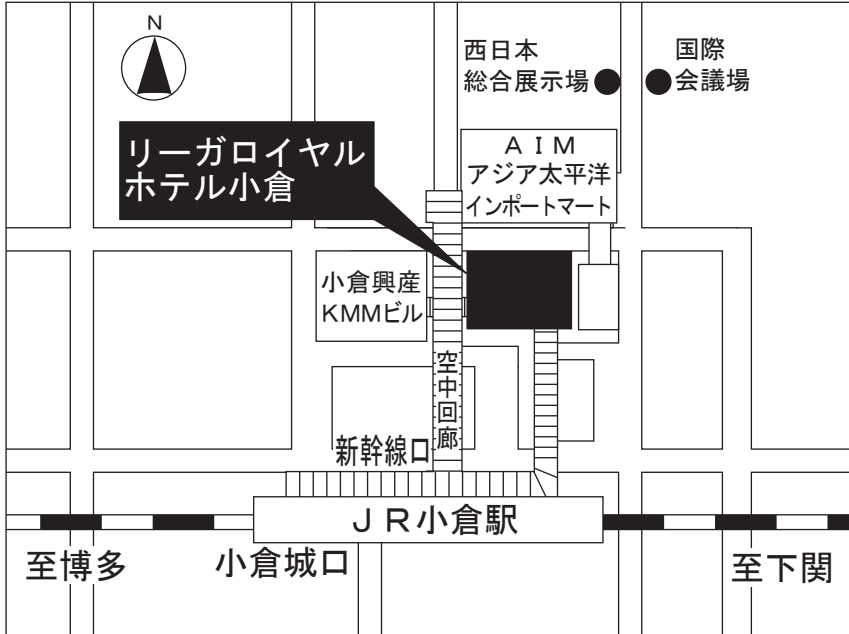


# 株主総会会場ご案内図

北九州市小倉北区浅野二丁目14番2号

リーガロイヤルホテル小倉 3階エンパイアルーム

TEL 093(531)1121(代)



○ JR小倉駅新幹線口より徒歩3分